基本政策8

豊かな学びにあふれ 健やかな体を育むまち

目 次

基本政策 8	」 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち	
8 - 1	子どもたちの可能性が開花する教育の推進	頁
[102]	教育委員会運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	250
[103]	子どもの居場所づくり推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	252
[104]	小学校管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	254
[105]	宇佐美学園管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	256
[106]	中学校管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	258
[107]	柏学園管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	260
[108]	幼稚園管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	262
[109]	認定こども園管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	264
[110]	学校関連システムの運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	266
[111]	ICT環境の整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	268
[112]	保護者負担軽減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	270
[113]	教員の指導力向上事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	272
[114]	確かな学力の向上事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	274
[115]	特別支援教育推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	276
[116]	教育センター管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	278
8 - 2	希望に満ち、次代を担う子どもの育成	
[117]	家庭教育の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	280
[118]	青少年の健全育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	282
8 - 3	生涯にわたり学ぶ喜びを分かち合える学習活動の推進	
[119]	社会教育会館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	284
[120]	生涯学習の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	286
[121]	図書館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	288
8 - 4	スポーツの楽しさが広がる環境づくり	
[122]	スポーツ振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	290
[123]	スポーツ施設管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	292

部課名

教育委員会事務局庶務課

基本政策8	豊かな学びに	あふれ健ヤ	さかな体を習	すむまち
-------	--------	-------	--------	------

施策8-1|子どもたちの可能性が開花する教育の推進

施策の

 「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育める。 む質の高い教育を展開していきます。

目標

む良い向い場所になり。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

M連する個別計画 改定教育振興基本計画

大事業	中事業1	教育委員会運営	中事業2	教育広報紙「かがやき」の発行	中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
教育委員会運営事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・首長から独立した合議制の教育委員会として、学校教育や生涯学習・社会教育、芸術文化、スポーツ振興のほか、文化財保 護などに取り組み、教育行政の総合的な推進を図る。
- ・教育に関する身近な内容を広報紙「かがやき」で取り上げ、区民や保護者の教育行政に対する理解を促すほか、教育委員会 と地域との円滑なコミュニケーションを図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	37,799,602	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	4,300,179		_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0		_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0			政	都支出金	0		_
行	補助費等	88,000			収入	分担金及び負担金	0		_
政費	投資的経費	0		_	^	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	0		_		その他	0	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0				小 計	0		_
	賞与·退職給与引当金繰入額	3,526,802	_	_		行政収支差額	△45,714,583		_
	その他	0		_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	45,714,583	_			通常収支差額	△45,714,583	_	_
	特別費用	0	_			当期収支差額	△45,714,583		_
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	46,749,578		_
	特別収支差額	0		_	再	計(一般財源調整後)	1,034,995	_	_

② 決算額の主な内訳

	- 假の工なりの		
勘定科目		勘定科目	物件費
決算額の 主な内訳	·教育委員報酬 11,952,000円	決算額の 主な内訳	・教育広報紙「かがやき」発行委託 2,574,187円・教育委員視察等旅費 671,890円・点検・評価報告書の印刷 160,920円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	

③ 行政費田の性質別割合

0%	<u> </u>	1% €	0% 8	0%	100%
		人件費 82.7%		物件費 9.4%	その他 7.7%
P成30年度					
				補助費	

	A ID / I / I / I / I								\ + + 1 1
	助党利用	平成30年度	令和元年度	差額		助中利日	平成30年度	令和元年度	差額
	勘定科目	Α	В	B-A		勘定科目	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	-
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	1,488,841	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	_
固	建物	0	_	_	固	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	固定負	退職給与引当金	26,748,387	_	_
資	重要物品	0	_	-	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	28,237,228	_	_
	建設仮勘定	0	_			正味財産の部合計	△28,237,228	_	_
	その他	0	_	_	負債・正味財産の部合計		0		
	資産の部 合計	0	_	_			U	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

<u> </u>			
勘定科目	<u> </u> <u> </u> <u> </u> <u> </u> <u> </u>	助定科目	
決算額の 主な内訳		央算額の 主な内訳	
主な 増減理由	——	主な 曽減理由	
勘定科目	甚	助定科目	
決算額の 主な内訳		央算額の 主な内訳	

主な 増減理由

3 関連データ

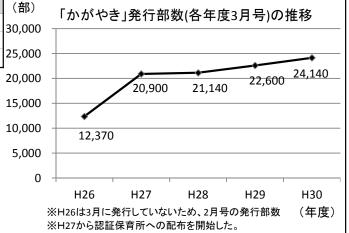
主な

增減理由

項目	平成30年度	令和元年度
教育委員会傍聴者数(人)	34	_
教育委員会表彰件数(人)	20	_
教育広報紙「かがやき」発行部数(部)	143,752	_

・教科書採択を行う場合など傍聴希望者が多い教育委員会定 例会において希望者全員を受け入れられるよう、規則改正を 行った。(平成30年第8回定例会傍聴20名)

・教育広報紙については、児童・生徒数の増加のほか、町会・ 自治会に回覧用として配布する部数も増加していることから、 その発行部数が年々増加している。



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・人件費が行政費用の大半を占めている。
- ・教育委員会については、原則、毎月第2水曜日に定例会、必要に応じ臨時会を開会するほか、教育施策先進自治体等を視察し、その成果を本区教育施策に反映させるなど教育行政の推進を図っている。
- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、前年度の教育行政事務の管理及び執行状況について、有識者の知見の活用を図りながら、点検および評価を行い、区議会に報告するとともに、その内容について公表している。
- ・他の児童・生徒等の模範となる善行や優れた活動など功績が顕著な児童・生徒等に対して表彰を行っている。
- ・教育広報紙「かがやき」は、学校の現状や施策内容等について周知し、理解の促進を図るツールとなるよう、紙面構成の工夫や発行回数を増やすなどの充実に取り組んでいる。

② 今後の方向性

- ・平成27年に改正された新教育委員会制度の主旨を踏まえ、首長と協議・調整を図りつつ、中立的で専門的な教育行政を推進する。
- ・「点検・評価」については、各事業について詳細な分析・評価を行い、適切なPDCAサイクルに基づく精査を行うとともに、区民がより理解しやすい報告書となるよう改善を図る。
- ・教育広報紙「かがやき」は、より多くの区民に対して普及・啓発が図れるよう、紙面構成の改善に取り組むほか、さらなる掲載内容の充実を図る。

部課名

教育委員会事務局庶務課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

目標

いまい高い歌目を展開していてきな。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	子どもの居場所づくり「プレディ」	中事業2	中事業3	
	中事業4		中事業5	中事業6	
	中事業7		中事業8	中事業9	
子どもの居場所づくり推進事業	中事業10		中事業11	中事業12	
	中事業13		中事業14	中事業15	
	中事業16		中事業17	中事業18	

1 事業の目的

・地域や保護者を中心とするボランティアの協力のもと、学校施設を活用した子どもの居場所「プレディ」を運営し、子どもたち が放課後や土曜日等に安全・安心に過ごすことができる居場所づくりを推進する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

\cdot									\ + + 1 1 1 /
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	102,995,893	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	272,493,004	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	26,632,000	_	_
行	補助費等	4,506,761	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_	_	入	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	0	_	_		その他	3,506,856	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	30,138,856	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	2,893,787	_	_		行政収支差額	△352,750,589	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	382,889,445	_			通常収支差額	△352,750,589	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△352,750,589	_	_
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	353,616,615	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	866,026	_	_

② 決質額の主な内訳

<u>少 八尹</u>	- 成り上なりが		
勘定科目	物件費	勘定科目	人件費
決算額の 主な内訳	・プレディ運営委託料等 266,668,980円・消耗品等購入 5,243,848円・備品購入 343,008円	決算額の 主な内訳	・直営プレディ非常勤報酬 81,787,605円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目	補助費等	勘定科目	都支出金
決算額の 主な内訳	・直営プレディ運営協議会補助 2,760,761円 ・スクールマスター謝金等 1,746,000円	決算額の 主な内訳	・放課後こども教室推進事業費補助金26,632,000円
主な 増減理由		主な 増減理由	_

② 行政専用の歴質別割合

0%	20	%	40%	60%	80%	100%
	人件費 26.9%			物件費 71.2%		補助費等
平成30年度		310000				
Γ						その他 0.8%

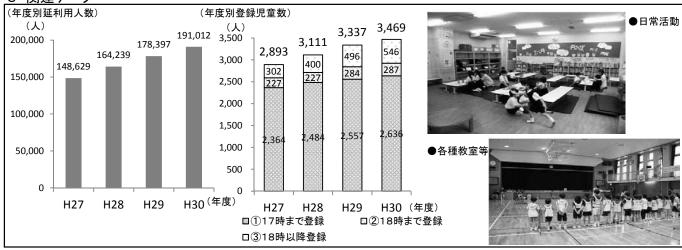
\sim	スロババル								\ - - - 1 3/
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		刨 足件日	A	В	B-A
流	収入未済	134,200	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_		動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	1,221,613	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	_
固	建物	0	_	_	固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	疋	退職給与引当金	21,947,395	_	_
資	重要物品	0	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_			負債の部合計	23,169,008	_	_
	建設仮勘定	0	_	_		正味財産の部合計	△23,034,808	_	_
	その他	0	_	_	負債・正味財産の部合計		134.200		
	資産の部 合計	134,200	_	_			134,200	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

	・説(ソープ・ない)」)(
勘定科目	収入未済	勘定科目	
決算額の	・延長利用料の収入未済 134,200円	決算額の	
主な内訳		主な内訳	
主な増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	

勘定科目	勘定科目	
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	 主な 増減理由	_

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・本事業においては、物件費、人件費ともプレディ事業スタッフに係る費用が多くを占めている。
- ・就労している家庭や区内に住所を有する全児童がプレディを利用できるよう、順次、運営時間の延長や対象児童の範囲拡大を図っている。
- ・登録児童数および利用児童数の増加に伴い、専用ルームの狭あい化への対応とともに、現在行っている各種教室やイベントのほか、さまざまな体験ができる事業の展開が必要である。

② 今後の方向性

・今後もプレディ利用児童数や支援が必要な児童数の増加が見込まれることから、プレディの活動場所を図書室やランチルーム、特別教室等にも拡大させるほか、職員の人員体制についても拡充を図る。また、社会教育関係団体との交流等世代間交流の推進とともに、新たに低学年からの学習の習慣付けを目的とした自主学習支援事業を導入するなど、効率的な事業運営にも配慮しつつ多様な事業展開を図り、放課後における児童の居場所づくりを充実していく。

教育委員会事務局 部課名 学務課、学校施設課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。

目標

ことが高いる日と表現的とくでもか。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーター 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	小学校教育活動	中事業2	スクールバスの運行	中事業3	小学校通学路防犯設備の整備
	中事業4	小学校運営一般事務	中事業5	小学校維持管理	中事業6	小学校校舎等改修
	中事業7	小学校給食	中事業8	小学校保健	中事業9	常盤小学校の改修
小学校管理事業	中事業10	佃島小学校の改修	中事業11	阪本小学校の改築	中事業12	仮校舎の整備(城東小学校・阪本小学校)
	中事業13	晴海地区小学校・中学校の整備	中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・学校ごとの特色ある教育活動や校外学習・宿泊行事、連合行事等を実施し、児童の教育環境の充実を図る。
- 就学人口の多い月島地域から特認校(城東小・常盤小・阪本小)へのスクールバスの運行や通学路における防犯カメラの設置を通じ、通学路の利便性向上 や安全対策強化を図っている。
- ・学校給食法に基づき、適切な栄養摂取による健康の保持増進を図るなど7つの目標を掲げ、学校給食の普及充実を図ることで、児童が学校給食を通して、 心身の発達や食に関する正しい理解、適切な判断力を身につけることができるようにする。 ・定期健康診断や学校環境衛生検査等を実施することにより、児童の健康の保持・増進を図る。
- ・小学校施設の老朽化や児童数の増加に対応した施設機能の更新および施設整備を行い、良好な学習空間の確保を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	383,862,013	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	1,589,825,238	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	60,187,114	_	_	行	国庫支出金	17,734,200	_	_
	扶助費	0	_	_	政	都支出金	36,474,933	_	<u>—</u>
行	補助費等	17,615,784	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	1,306,626,564	_	_	入	使用料及び手数料	24,452,933	_	_
用	減価償却費	1,059,602,359	_	_		その他	50,696,944	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	129,359,010	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	21,256,214	_	_		行政収支差額	△4,309,616,276	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	△84,972,857	_	_
	小 計	4,438,975,286	_	_		通常収支差額	△4,394,589,133	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△4,392,865,343	_	_
	特別収入	1,723,790	_	_		一般財源充当調整	3,372,562,088	_	_
	特別収支差額	1,723,790	_	_	再	計(一般財源調整後)	△1,020,303,255	_	_

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の 主な内訳	・光熱水費 389,246,003円・給食調理業務委託料 382,720,356円・施設維持管理委託料 214,305,645円・学校運営に要する物品購入・印刷等 175,426,928円・電話料金 7,556,762円・スクールパスの運行委託 72,896,328円・阪本小学校隣接私有地に係る土地賃借料 4,204,200円	決算額の 主な内訳	・常盤小学校外壁改修その他工事 403,000,000円 ・城東小学校・阪本小学校仮設校 舎等の借入れ 271,641,600円・佃島小学校大規模改修工事(建築工事) 142,978,000円・阪本小学校埋蔵文化財発掘調査委託 140,400,000円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目	減価償却費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	·小学校·併設幼稚園建物·工作物 1,017,317,206円	決算額の主な内訳	·小学校維持補修工事 58,644,874円
主な		主な	

② におま田の歴度別割る

<u>) 行以</u> 。		<u> </u>	40%	60%	80%	100%
	人件費 8.6%	物件費 35.8%	維持補修費 1.4%	投資的経費 29.4%		その他 24.3%
平成30年度	100					
			補助費等 0.4%			

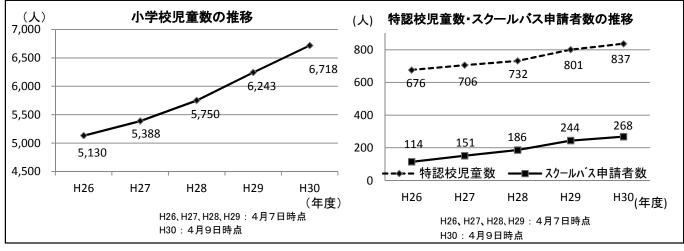
	見旧バルルン							\ + - 1 1 1	
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		刨处针日	Α	В	B-A
流	収入未済	49,000,000	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	358,615,084	_	_
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	18,744,123	_	_
	土地	9,024,751,594	_	_		その他	0	_	
固	建物	22,726,278,769	_	_	固	特別区債	11,241,621,948	_	_
定	工作物	831,207,394	_	_	固定負	退職給与引当金	336,755,335	_	_
資	重要物品	124,345,231	_		債	その他	0	_	
産	インフラ資産	0	_			負債の部合計	11,955,736,490	_	_
	建設仮勘定	2,322,855,760	_	_		正味財産の部合計	23,122,702,258	_	_
	その他	0	_	_	負債・正味財産の部合計		35.078.438.748		
	資産の部 合計	35,078,438,748	_	_			33,070,430,740	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	- 小学校施設 22,726,278,769円	決算額の 主な内訳	·小学校·併設幼稚園敷地 9,024,751,594円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	工作物
決算額の	阪本小学校改築 1,691,863,600円・佃島小学校大規模改修 384,430,000円・晴海地区新設小学校整備 178,412,000円	決算額の 主な内訳	·小学校·併設幼稚園工作物 831,207,394円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・宿泊行事を含む校外学習においては、児童数が年々増加する中、実施日程の調整や宿泊施設の確保等の点で課題が大きくなっている。
- 特認校におけるスクールバス利用者が年々増加する中、利用条件の見直し等を行っていく必要がある。
- ・通学路の防犯カメラについては平成30年度に小学校16校全80台の設置が完了した。一方、設置後5年を経過しているカメラもあることから、順次更新を行っていく必要がある。
- ・アレルギー対応マニュアルの改定に伴い、学校給食におけるアレルギー対応については、多段階除去から完全除去食や代替食による対応へ変更していく必要がある。
- ・小学校の改築(阪本小学校および城東小学校(市街地再開発事業で実施))については、平成29年度から工事に着手している。また、晴海五丁目への小学校の整備(新設)については、基本設計の取りまとめが完了し、実施設計に着手した。

② 今後の方向性

- ・宿泊行事を含む校外学習については、今後の児童数の推移を踏まえ、効果的・効率的な実施方法の検討を学校とともに進めていく。
- ・特認校におけるスクールバスについては、児童数の増加や児童の安全を勘案しつつ、PTAや学校との議論を踏まえながらバスの必要台数や利用条件についての検討を進めていく。
- ・通学路の防犯カメラについては導入時期に合わせた計画的な更新等、通学路の安全強化に努める。
- ・児童数の増加に伴い、今後も給食室等の改修工事が見込まれるため、給食の提供に支障が出ないよう検討を行い、安定した学校給食の供給に努め、児童の心身の発達に寄与していく。
- ・アレルギー対応食(完全除去食・代替食)の提供が可能な学校から試行的に対応を行い、全校実施に向けて準備を進めていく。
- ・阪本小学校は令和2年9月、城東小学校(市街地再開発事業で実施)は令和4年9月の開設に向けて改築工事を進めていく。また、晴海五丁目への小学校の整備(新設)は令和5年の開設に向け整備を進めていく。

教育委員会事務局 部課名 学務課、学校施設課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

目標

いまい高い歌目を展開していてきな。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	宇佐美学園の運営	中事業2	宇佐美学園の維持管理	中事業3	宇佐美学園園舎等改修
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
宇佐美学園管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・ぜんそく・肥満・虚弱等の児童が、豊かな自然環境の中で規則正しい生活を通して、健康の回復、増進に努めながら学校教育が受けられる ようにするため、健康学園の運営および施設の維持管理を行う。
- ・施設および設備等の老朽化に対し、適宜改修のうえ機能の維持・更新を図り、安全、安心な教育環境を確保していく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

							\ <u>ii</u>		
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	103,721,497	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	70,519,342	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	4,406,408	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	0	_	_
行	補助費等	570,900	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	45,400,000	_	_	1	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	27,929,487	_	_		その他	8,396,618	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	8,396,618	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	10,670,836	_	_		行政収支差額	△254,821,852	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	263,218,470	_	_		通常収支差額	△254,821,852	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△254,821,852	_	_
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	230,023,888	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	△24,797,964	_	_

② 決算額の主な内訳

	はなっているとうかく		
勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・給食調理業務委託 30,020,760円・学園用消耗品等購入、設備等修繕 18,014,356円・電気・ガス・水道・燃料等購入 8,095,157円	決算額の主な内訳	·宇佐美学園受変電設備改修工事 45,400,000円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目	減価償却費	勘定科目	その他
決算額の	·宇佐美学園校舎等建物 24,734,214円 ·宇佐美学園浄化標等工作物 2,637,655円	決算額の	・児童等学園生活に係る賄費収入 8,151,525円

一一一		刨足竹口	7 07 他
決算額の主な内訳	・宇佐美学園校舎等建物 24,734,214円・宇佐美学園浄化槽等工作物 2,637,655円	決算額の 主な内訳	・児童等学園生活に係る賄費収入 8,151,525円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

③ 行政費田の性質別割合

<u>3)行政</u> ºº	<u> </u>	0% 60	0%	80%	10
	.件費 9.4%	物件費 26.8%	維持補修費 1.7%	投資的経費 17.2%	その他 14.7%
平成30年度			5000000 5000000		
			補助費等		

4) 貸借対照表 (単位:円)

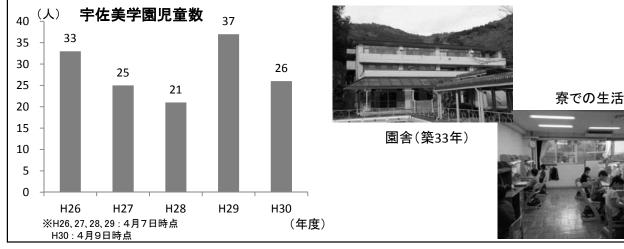
	サウシロ	平成30年度	令和元年度	差額		#1010	平成30年度	令和元年度	差額
	勘定科目	Α	В	B-A		勘定科目	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_		負債	賞与引当金	4,504,697	_	_
	土地	74,114,725	_	_		その他	0	_	_
固	建物	240,442,341	_	_	固定負	特別区債	0	_	
定	工作物	29,069,641	_		正	退職給与引当金	80,931,018	_	_
資	重要物品	1,708,290	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_			負債の部合計	85,435,715	_	_
	建設仮勘定	20,319,120	_	_	正味財産の部合計		280,218,402	_	_
	その他	0	_		名唐 エサリキの如人引		365,654,117		
	資産の部 合計	365,654,117	_	_	→ 負債・正味財産の部合計		303,034,117	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・宇佐美学園 240,442,341円	決算額の 主な内訳	·宇佐美学園敷地 74,114,725円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目	工作物	勘定科目	建設仮勘定
決算額の主な内訳	·宇佐美学園工作物 29,069,641円	決算額の 主な内訳	·宇佐美学園大規模改修 20,319,120円
主な 増減理由		主な 増減理由	_

3 関連データ



4 総括

現状·成果·課題

・ぜんそくや肥満、虚弱等の小学校3年生から6年生までの児童が、豊かな自然環境の中で寮生活を送り、規則正しい生活や バランスのとれた食生活を通して健康の回復や増進に取り組みながら、区内小学校と同一の教育を受ける場を提供している。 ・建物しゅん工後、寮舎棟は37年、校舎棟、体育館棟等は33年が経過し、施設および設備等が老朽化する中、児童が快適に過 ごせる環境を確保するため、計画的な改修工事が必要である。

<u>② 今後の方向性</u>

- ・毎年、在園児童の人数や健康上の課題等が変化する中で、児童一人一人が必要とする健康回復や維持・増進に向けた取組 に適切に対応していくとともに、区内小学校と同一の教育を提供する場として学園運営に努めていく。
- ・適宜設備および備品の更新を図るとともに、財政負担の軽減・平準化を踏まえた計画的な施設改修を行い、円滑な学園生活 に資する教育環境を確保していく。

教育委員会事務局 部課名 学務課、学校施設課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。

目標

ない回い。記号を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。
・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	中学校教育活動	中事業2	中学校維持管理	中事業3	中学校校舎等改修
	中事業4	中学校給食	中事業5	中学校保健	中事業6	佃中学校の改修
	中事業7		中事業8		中事業9	
中学校管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・学校ごとの特色ある教育活動や校外学習・宿泊行事、連合行事等を実施し、生徒の教育環境の充実を図る。
- ・学校給食法に基づき、学校給食が生徒の心身の発達や食に関する正しい理解、適切な判断力を身につけるうえで重要な役割を果たすよ う、普及充実を図る。また、学校における食育の推進を図る。
- ・定期健康診断や学校環境衛生検査等を実施することにより、生徒の健康の保持・増進を図る。
- ・中学校施設の老朽化や生徒数の増加に対応した施設機能の更新および施設整備を行い、良好な学習空間の確保を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	130,903,022	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	435,741,744	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	16,618,855	_	_	行	国庫支出金	2,977,500	_	_
	扶助費	0	_	_	政	都支出金	618,000	_	_
行	補助費等	5,112,613	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	
政費	投資的経費	166,067,648	_	_	-	使用料及び手数料	23,796	_	_
用	減価償却費	189,370,684	_	_		その他	7,830,700	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	11,449,996	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	25,322,770	_	_		行政収支差額	△957,687,340	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	-	_
	小 計	969,137,336	_	_		通常収支差額	△957,687,340	_	_
	特別費用	1	_	_		当期収支差額	△955,838,011	_	_
	特別収入	1,849,330	_	_		一般財源充当調整	763,765,064		_
	特別収支差額	1,849,329	_	_	再	計(一般財源調整後)	△192,072,947	_	_

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の	・光熱水費 108,301,340円・給食調理業務委託料 93,555,000円・施設維持管理委託料 54,352,732円・学校運営に要する物品購入・印刷等 53,033,362円・宿泊施設、行事用バス借入れ等 19,255,151円	決算額の 主な内訳	·中学校建物·工作物 185,758,159円
主な 増減理由	1	主な 増減理由	_

勘定科目	投資的経費	勘定科目		維持補修費
決算額の 主な内訳	・佃中学校大規模改修工事(建築工事) 157,022,000円 ・晴海中学校給食室改修工事(設計業務委託) 5,724,000円 ・佃中学校美術用作業台ほか備品購入 2,637,900円	決算額の 主な内訳	•中学校維持補修費	16,618,855円
主な 増減理由		主な 増減理由		_

③ 行政費用の性質別割合

0%	<u>貝用V/工具/</u>	0% 40%	60%	8	0% 10	0%
	人件費 13.5%	物件費 45.0%	維持補修3 1.7%	投資的経費 17.1%	その他 22.2%	
平成30年度	\$886			ĺ.		
			補助費			

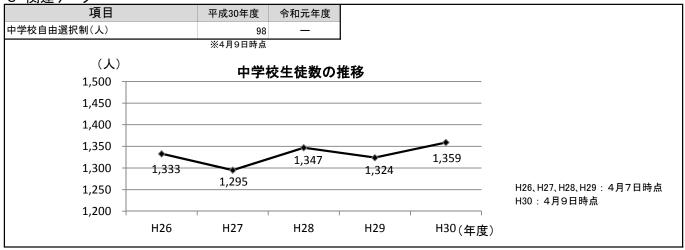
_	7 (ID 7 3 //// P 7								<u> </u>
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		到足行口	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	-
産	その他	0	_		負	賞与引当金	6,909,748	_	_
	土地	19,400,498,116	_	_	債	その他	0	_	-
固	建物	2,387,866,074	_		固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	46,050,492	<u> </u>	_	疋	退職給与引当金	124,139,951	_	_
資	重要物品	10,224,053	_		債	その他	0	_	-
産	インフラ資産	0	<u> </u>	_		負債の部合計	131,049,699	_	_
	建設仮勘定	347,610,000	<u> </u>	_		正味財産の部合計	22,061,199,036	_	_
	その他	0	_	-	台	唐. 正吐盱帝の郊今計	22.192.248.735		
	資産の部 合計	22,192,248,735	_	_	負債・正味財産の部合計		22,192,240,730	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

<u> </u>			
勘定科目	土地	勘定科目	建物
決算額の 主な内訳	•中学校敷地 19,400,498,116円	決算額の 主な内訳	•中学校施設 2,387,866,074円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	•佃中学校大規模改修 347,610,000円	決算額の 主な内訳	•中学校工作物 46,050,492円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

3 関連デ-



4 総括

- ① 現状・成果・課題 「宿泊行事を含む校外学習においては、生徒数が増加傾向にある中、実施日程の調整や宿泊施設の確保等の点で課題が大 きくなっている。
- ・晴海五丁目への中学校の整備(新設)は、基本設計のとりまとめを完了し、実施設計に着手した。

② 今後の方向性

- ・宿泊行事を含む校外学習については、今後の生徒数の推移を踏まえ、効果的・効率的な実施方法の検討を学校とともに進め ていく。
- ・晴海五丁目への中学校の整備(新設)は、令和5年の開設に向け整備を進めていく。

教育委員会事務局 部課名 学務課、学校施設課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。

目標

ない回い。記号を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。
・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	柏学園の運営	中事業2	柏学園の維持管理	中事業3	柏学園園舎等改修
	中事業4	柏学園社会教育利用	中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
柏学園管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・自然環境に親しむ機会が少ない小中学校・幼稚園の児童・生徒・園児に対し、芋掘りやセカンドスクール、部活動合宿等学園 の自然環境や施設等をいかした教育活動の場を提供する。
- ・学校が利用する期間を除き、区内在住・在勤者および教育委員会が認める団体が、社会教育および社会体育を目的とした団 体生活学習およびレクリエーション活動等を行う場所として、柏学園の施設を提供する。
- ・施設および設備等の老朽化に対し、適宜改修のうえ機能の維持・更新を図り、安全、安心な教育環境を確保していく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

\cdot					\ + + 1 1 1 /				
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	23,007,984	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	62,810,502	_			特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	5,608,008	_		行	国庫支出金	1,528,000	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	0	_	_
行	補助費等	1,321,560	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_		入	使用料及び手数料	1,660	_	_
用	減価償却費	19,565,988	_			その他	6,705,329	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小計	8,234,989	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	4,934,994	_	_		行政収支差額	△109,014,047	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	117,249,036	_	_		通常収支差額	△109,014,047	_	_
	特別費用	0	_			当期収支差額	△109,014,047	_	_
	特別収入	0	_			一般財源充当調整	88,019,036	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	△20,995,011	_	_

② 決算額の主な内訳

	・説でユー・ひょうかく		
勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の 主な内訳	·教材園管理·園舎清掃等業務委託料 23976000円 ·給食業務等委託料(学校利用) 10,748,071円 ·給食業務、施設開放受付管理等業務委託(社会教育·社会体育利用) 料 5,283,662円 ·施設維持管理委託料 5,306,817円	決算額の 主な内訳	・柏学園管理・学習・宿舎棟等建物 19,106,878円 ・柏学園高架水槽等工作物 459,110円
主な 増減理由	İ	主な 増減理由	_
勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の 主な内訳	·柏学園維持補修工事 5,608,008円	決算額の 主な内訳	·学校宿泊行事賄費収入 4,870,729円 ·社会教育利用宿泊使用料 1,834,600円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

行政専用の歴質別割る

<u> 沙 行政</u>	費用の性質が	<u>判割台</u>				
09	6 20	9% 40	0% 60	0% 80)% 10	0%
	人件費 19.6%		物件費 53.6%	維持補修費 4.8%	その他 20.9%	
平成30年度						
				補助費		
				1.19		

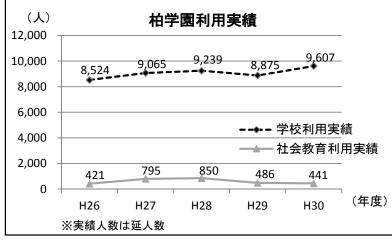
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		벬 , 件 日	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	-	_	動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_		負	賞与引当金	1,183,438	_	_
	土地	544,216,608	_	_	債	その他	0	_	_
固	建物	341,606,035	-	_	固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	5,746,590	<u> </u>	_	疋	退職給与引当金	21,261,539	_	_
資	重要物品	3	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	22,444,977	_	_
	建設仮勘定	22,444,560	_	_		正味財産の部合計	891,568,819	_	_
	その他	0	_	_	4	佳. 正吐財産の知会計	914.013.796		
	資産の部 合計	914,013,796	_	_	- 負債・正味財産の部合計		914,013,790	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

<u> </u>			
勘定科目	土地	勘定科目	建物
決算額の 主な内訳	•柏学園敷地 544,216,608円	決算額の 主な内訳	•柏学園 341,606,035円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	•柏学園大規模改修 22,444,560円	決算額の 主な内訳	·柏学園工作物 5,746,590円
主な 増減理由		主な 増減理由	_

3 関連データ



教材園での芋掘りの様子



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・区立小・中学校および幼稚園の児童・生徒・園児に対して、区内の学校環境において実施することが困難な芋掘りやセカンドスクール、部活動合宿等、学園の自然環境や施設を活用して行う校外学習の場を提供することで、学校教育の充実に寄与している。
- ・区民の生涯学習の振興および施設の有効活用の観点から、土・日曜日や夏季・春季休業期間中等、学校等が利用しない日において、区内在住・在勤・在学者の団体がスポーツやレクリエーション活動を行うための施設として開放している。
- ・建物しゅん工後、31年が経過しており、施設の機能維持をはじめ、バリアフリーやエコスクール等への対応のほか、児童数の増加に伴う狭あい化にも対応していく必要がある。平成30年度においては、大規模改修工事設計を行い、設備機器の更新とともに、宿泊人数や給食調理数の拡大に向けた検討を行った。

② 今後の方向性

- ・児童数等が増加傾向にある中、学校等が校外学習を効果的かつ円滑に実施することができるよう、施設および設備の更新を 図るとともに、利用方法についても適宜見直しを行い、良好な教育環境の維持に努めていく。
- ・社会教育利用については、今後も学校等による施設利用との調整を図りながら、区民の生涯学習の振興および施設の有効 活用の観点から、利用者にとって使いやすい施設運営に努めていく。
- ・施設を利用しながら大規模改修工事を行い、宿泊室の増設、給食厨房・食堂の拡張等を併せて行うことで、利用者数の増加への対応を図っていく。

教育委員会事務局 部課名 学務課、学校施設課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

目標

いまい高い歌目を展開していてきな。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	幼稚園保育経費	中事業2	幼稚園維持管理	中事業3	幼稚園園舎等改修
	中事業4	幼稚園保健	中事業5	月島幼稚園の改修	中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
幼稚園管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・小学校と同域の学区域制度を活用しつつ、幼稚園ごとの特色ある教育活動や遠足、運動会等を実施し、園児の教育環境の充実を図る。
- ・定期健康診断や学校環境衛生検査等を実施することにより、園児の健康を保持・増進を図る。
- 幼稚園施設の老朽化等に対応した施設機能の更新を行い、良好な幼児期教育空間の確保を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	708,760,419	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	110,265,930	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	9,946,113	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	政	都支出金	1,714,000	_	_
行	補助費等	929,870	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	
政費	投資的経費	19,032,840	_	_	入	使用料及び手数料	83,272,600	_	_
用	減価償却費	139,630,444	_	_		その他	0	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	352,887	_	_		小 計	84,986,600	_	
	賞与·退職給与引当金繰入額	56,536,310	_	_		行政収支差額	△960,468,213	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	△13,231,938	_	_
	小 計	1,045,454,813	_			通常収支差額	△973,700,151	_	_
	特別費用	466,903	_	_		当期収支差額	△973,874,551	_	_
	特別収入	292,503	_	_		一般財源充当調整	898,706,931	_	_
	特別収支差額	△174,400	_	_	再	計(一般財源調整後)	△75,167,620	_	_

② 決算額の主な内訳

	· 哦~/ 工·ひょうい/		
勘定科目	減価償却費	勘定科目	物件費
決算額の 主な内訳	·幼稚園建物·工作物 139,630,444円	大昇級の	・光熱水費 37,286,843円・幼稚園運営に要する物品購入・印刷等 28,714,257円・校外学習用バス借入れ 9,060,880円・施設維持管理委託料 9,051,788円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目	投資的経費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	·京橋朝海幼稚園トイレ改修工事 17,704,440円		・保育料 82,537,600円・入園料 735,000円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

行政 弗田の 州 哲 別割 今

<u>3)行政</u>	費用の性質が	引割台				
0	% 20	0% 40	0% 60	0% 8	0% 10	0%
		人件費 67.8%		物件費 補 10.5%	助費等 その他 0.1% 20.6%	
平成30年度						
				維持補		

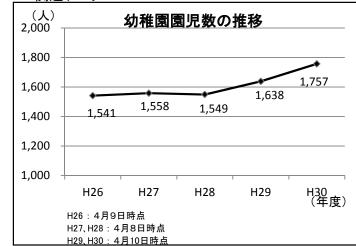
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		—————————————————————————————————————	平成30年度	令和元年度	差額
		A	В	B-A		Бужты	A	В	B-A
流	収入未済	1,602,400	_	_	流	還付未済金	56,000	_	_
動資	不納欠損引当金	△352,887	_	_	動	特別区債	96,328,297	_	_
産	その他	0	_	_	負	賞与引当金	40,455,646	_	
	土地	784,665	_	_	債	その他	0	_	_
固	建物	3,917,607,211	_	_	固定負	特別区債	2,311,739,107	_	
定	工作物	54,169,006	_	_	正	退職給与引当金	720,148,884	_	
資	重要物品	0	_		債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	3,168,727,934	_	_
	建設仮勘定	0	<u> </u>	_	正味財産の部合計		805,082,461	_	_
	その他	0	_	_	名唐 エサリキの如人引		3.973.810.395		
	資産の部 合計	3,973,810,395	_	_	→ 負債・正味財産の部合計		3,973,010,393	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

	· <u>((((((((((((((((((((((((((((((((((((</u>		
勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	-幼稚園施設 3,917,607,211円	決算額の 主な内訳	·幼稚園工作物 54,169,006円
主な 増減理由		主な 増減理由	_

勘定科目	収入未済	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・入園料及び保育料の未納 1,602,400円	決算額の 主な内訳	·月島幼稚園等敷地 784,665円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

3 関連データ





さくらんぼをいただく会の様子

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・小学校と同域の学区域制を導入しているため、園児の小学校へのスムーズな移行が可能となっている。
- ・一部の幼稚園では学区域の子どもが増加し、すべての入園希望者を受け入れられない状況が生じている。
- 保育料等については定期的に未納額の通知を行うなど滞納の発生抑制に努めている。
- ・一部の幼稚園については、施設の老朽化等に対応した計画的な改修工事を行う必要がある。

② 今後の方向性

- ・今後も併設小学校との異年齢交流等を通じ、園児の小学校へのスムーズな移行へつなげていく。
- ・学区域の考え方を維持しつつも、区立全園の就園状況のバランスを見ながら効率的な運営が同時に達成できるような学級編成のあり方を検討していく。
- ・債権徴収計画に基づいた計画的な督促を行い、保育料等の滞納解消を図っていく。
- ・環境負荷の低減を含め、各幼稚園施設の老朽化に対応した機能更新を計画的に行っていく。入札不調により改修工事が見送りとなった月島幼稚園については、財政負担等を勘案しつつ、必要な改修を着実に進めていく。

部課名

教育委員会事務局学校施設課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育かます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。

目標

いまい高い歌目を展開していてきな。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	阪本こども園(仮称)の整備	中事業2	中事業3	
	中事業4		中事業5	中事業6	
	中事業7		中事業8	中事業9	
認定こども園管理事業	中事業10		中事業11	中事業12	
	中事業13		中事業14	中事業15	
	中事業16		中事業17	中事業18	

1 事業の目的

・学校整備等の機会を捉え認定こども園(幼保連携型)を設置し、幼児期の学校教育だけでなく保育に対するニーズにも適った 施設の整備を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

	1320-211 1137 1	亚成20年度 全和二年度 羊類			平成30年度	令和元年度	差額		
	勘定科目	A A	B	B-A		勘定科目	A	B	B-A
	人件費	665,375	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	0	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	0	_	_
行	補助費等	0	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	3,742,000	_	_	入	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	0	_	_		その他	0	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	0	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	724,031	_	_		行政収支差額	△5,131,406	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	△175,378	_	_
	小 計	5,131,406	_			通常収支差額	△5,306,784	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△5,306,784	_	_
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	4,582,753	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	△724,031	_	_

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・阪本こども園(仮称)整備工事 3,742,000円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由		主な 増減理由	_

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由 <u>—</u>

② 行政弗田の州祭別割合

<u>) </u>	貧用の性質が	別割台				
09	% 20	0% 40	0% 60	0% 80	9% 100)%
Î	人件費 13.0%		投資的経費 72.9%		その他 14.1%	
平成30年度						

	サウシロ	平成30年度	令和元年度	差額		#라이크	平成30年度	令和元年度	差額
	勘定科目	Α	В	B-A		勘定科目	Α	В	B-A
流	収入未済	5,000,000	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_		負債	賞与引当金	38,175	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	<u>—</u>
固	建物	0	_	_	固定負	特別区債	90,000,000	_	_
定	工作物	0	_		正	退職給与引当金	685,856	_	_
資	重要物品	0	_	_	債	その他	0	_	<u>—</u>
産	インフラ資産	0	_			負債の部合計	90,724,031	_	_
	建設仮勘定	109,892,000	_	_	正味財産の部合計		24,167,969	_	_
	その他	0	_		台	信.ではいまの如今計	114,892,000		
	資産の部 合計	114,892,000	_	_	→ 負債・正味財産の部合計		114,092,000	_	_

⑤ 決質額の主な内訳

	<u> 徴の土な内訳</u>		
勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	収入未済
決算額の 主な内訳	・阪本こども園(仮称)整備 109,892,000円	決算額の 主な内訳	・児童福祉施設整備事業債(阪本こども園) 5,000,000円
主な 増減理由		主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

3 関連データ

【阪本こども園(仮称)施設概要】

〇延床面積

園舎:約830㎡、園庭:約450㎡

〇想定定員

117人

阪本こども園(仮称)整備スケジュール

MATICO DESTRUCTO	7 正 MM ハ ノ メ ニー フ ル			
平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	
改築設計	解体·改築工事(H2	 9年度~R2年度夏) 	開設準備	開設

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・阪本こども園(仮称)の整備は、阪本小学校の改築工事と併せて平成29年度から工事に着手している。
- ・阪本こども園(仮称)の運営事業者に対する土地・建物の貸付条件や運営条件の整理を行い、令和元年度に実施する運営事業者選定に向けた準備と課題整理を行った。

② 今後の方向性

・阪本こども園(仮称)の整備については、令和2年5月の施設完成に向けた工事、令和3年4月の開設に向けた運営準備を着実に進めていく。また、運営事業者を選定するとともに、区教育委員会との連携等の運営等に関する基本事項を定めた公私連携協定を運営事業者と締結し、開設後の円滑な運営に向けた体制を整えていく。

部課名

教育委員会事務局学務課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。

目標

ない回い。記号を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。
・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	校務支援システムの運用	中事業2	就学システムの運用	中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
学校関連システムの運用	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・校務支援システムの導入により、児童・生徒の基本情報を一元管理することで、成績データ等の情報の共有化、校務の負担軽減を図り、児 童・生徒に対する指導を充実するとともに、情報管理の安全性を高め、セキュリティの向上を図る。

・就学事務にあたって導入されている就学システムは、児童・生徒の就学先情報を住民基本台帳情報と連携して管理するとともに、学齢簿管 理上必要な事項の管理、対象者の抽出・案内、指導、統計事務等に活用することで事務の効率化・適正化を図る。

2 財務情報
① 行政コスト計算書

(畄位:四)

\cup	17以 コヘト 計昇 記								(単位:円)
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	3,710,637	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	118,094,046	_			特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0	_		行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1] 政	都支出金	0	_	_
行	補助費等	0	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_	_	入	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	3,683,534	_	_		その他	0	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	0	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	229,052	_			行政収支差額	△125,717,269	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	125,717,269	_	_		通常収支差額	△125,717,269	_	_
	特別費用	0	_			当期収支差額	△124,609,709	_	_
	特別収入	1,107,560	_	_		一般財源充当調整	122,586,546		
	特別収支差額	1,107,560	_	_	再	計(一般財源調整後)	△2,023,163	_	_

② 決算額の主な内訳

	はなっていることは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで		
勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の 主な内訳	・校務支援システム運用保守委託 67,502,160円・校務支援システムに係る機器等の借入れ 24,112,080円	決算額の 主な内訳	• 校務支援システム 3,683,534円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	
勘定科目 決算額の 主な内訳	_	勘定科目 決算額の 主な内訳	_

③ 行政费田の性質別割ぐ

3.0% 93.9% 3.1%	0%	20%	40%	60%	80%	100%
平成30年度						その他 3.1%
	成30年度					≋

									\ I - 1 • 1
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		一切足行口	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_		動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	229,052	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	_
固	建物	0	_	_	固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_		正	退職給与引当金	4,115,136	_	_
資	重要物品	0	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_			負債の部合計	4,344,188	_	_
	建設仮勘定	0	_	_	正味財産の部合計		△660,653	_	_
	その他	3,683,535	_		台	 債・正味財産の部合計	3,683,535		
	資産の部 合計	3,683,535	_	_] 早1	貝・止味別性の部合計	3,083,535	_	_

⑤ 油質類の主た肉記

5)	- 観の王な内訳		
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	・ソフトウェア(校務支援システム) 3,683,535円	決算額の 主な内訳	_
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の 主な内訳	_
主な		主な 増減理由	

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
		_
		_
		_
		_
		_
		_

4 総括

① 現状・成果・課題 「・校務支援システムの導入によって、校務の負担軽減だけでなく、セキュリティの向上を図っている。一方、学習指導要領の改 訂や法改正があるごとに改修等の対応が必要となる。

・従前入学後に支給していた新入学児童生徒学用品費を、入学前の支給に変更したことに伴い、平成30年9月に就学システム を入れ替え、事務の効率化を図った。

② 今後の方向性

・校務支援システムや就学システムについては、今後も安定的な運用を図るとともに、個人情報の適正管理を図りながら効率

うとともに、学習指導要領の改訂や法改正の際には、システムの改修内容を精査し、遅滞なくシステム改修を行う。

部課名 教育委員会事務局学務課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

目標

いまい高い歌目を展開していてきな。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	ICT環境の整備	中事業2	中事業3	
	中事業4		中事業5	中事業6	
	中事業7		中事業8	中事業9	
ICT環境の整備事業	中事業10		中事業11	中事業12	
	中事業13		中事業14	中事業15	
	中事業16		中事業17	中事業18	

1 事業の目的

・考える力を育てるために有効なICT機器・ツールを整備することで、学校における個人、グループでの調べ学習等に活用させ るとともに、学習意欲やICT活用スキルの向上を図る。

2 財務情報
① 行政コスト計算書

(畄位:四)

\Box		旨							(単位:口)
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	4,030,828	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	87,960,654	_			特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_) 政	都支出金	0	_	_
行	補助費等	0	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_		入	使用料及び手数料	0	_	
用	減価償却費	0	_			その他	0	_	
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	0	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	4,344,188	_	_		行政収支差額	△96,335,670	_	_
	その他	0	_			金融収支差額	0	_	_
	小 計	96,335,670	_	_		通常収支差額	△96,335,670	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△96,335,670	_	_
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	91,991,482	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	△4,344,188	_	_

② 決質額の主な内訳

	はんとしているとこのと		
勘定科目	物件費	勘定科目	
	・授業支援システム構築業務委託 52,920,000円 ・授業支援システム保守委託 16,632,000円	決算額の 主な内訳	_
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
#1441		###	
勘定科日		勘定科日	

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	_	決算額の 主な内訳	_
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

行政弗田の州質別割る

0%	20	9% 40	9% 6	0% 80	0% 1009
	人件費		物件費 91.3%		その他 4.5%
成30年度					

	2C 1H / 3 / 11 / 2C								\
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		哲儿上 177 日	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	-
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	229,052	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	
固	建物	0	_		固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	疋	退職給与引当金	4,115,136	_	_
資	重要物品	0	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	4,344,188	_	_
	建設仮勘定	0	_	_		正味財産の部合計	△4,344,188	_	_
	その他	0	_	_	4		0		
	資産の部 合計	0	_	_] 早	貝・止味別性の部合計	U	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

<u>り </u>	額の王な内訳 おんきゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう はんりまれる しゅうしゅう しゅう		
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	_	決算額の 主な内訳	_
主な 増減理由		主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	
勘定科目 決算額の 主な内訳	_	勘定科目 決算額の 主な内訳	_

3 関連データ

【タブレット先行導入校】

- 〇小学校 2校
- 京橋築地小学校
- 阪本小学校
- 〇中学校 1 校 銀座中学校

※各校 60台

ICT機器を活用した授業の様子





4 総括

① 現状・成果・課題

・先行的にICT機器を導入した3校に実施したアンケート結果では、96%の児童・生徒が「タブレットコンピュータを使うと、楽しく学習することが 出来ている」と答え、89%の児童・生徒が「電子黒板を使った学習はわかりやすい」と答えており、児童・生徒の学習意欲の向上に寄与してい ることがうかがえる。

・令和2年度から開始される新たな学習指導要領や第3期教育振興基本計画(平成30年6月15日閣議決定)の指針にICT活用の必要性が明記される中、本区においても児童・生徒の深い学びの実現のためICT環境のさらなる充実の必要性が一段と高まっている。

② 今後の方向性

・教育委員会や学校等をネットワークで結びデータ共有を行う学校間ネットワークの更新時期に合わせ、ICT教育検討委員会との連携のもと、すでにタブレットを先行導入している3校や、全校導入している自治体の状況を参考にしながら、児童・生徒のICTを活用した学習活動の充実に向け学校のICT環境の整備を促進していく。

部課名

教育委員会事務局学務課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

目標

いまい高い歌目を展開していてきな。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	各種援助	中事業2	卒業アルバム・文集代等補助	中事業3	学校給食物資(米穀)の給付
	中事業4	教材費等援助(幼稚園)	中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
保護者負担軽減	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区が米飯給食用の米を購入し学校給食管理委員会へ給付するとともに、学用品費等や卒業記念アルバム・文集作成費用お よび修学旅行費等さまざまな補助を行いながら、保護者負担の軽減を図る。

2 財務情報

行政コスト計質書

(畄位·田)

(I)	仃以コスト計昇	틀							(単位:円)
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	10,148,517	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	37,298,567	_			特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	7,273,300	_	_
	扶助費	105,924,808	_	_	政	都支出金	280,000	_	_
行	補助費等	29,861,304	_	_	収入	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_		^	使用料及び手数料	0	_	_
用用	減価償却費	0	_	_		その他	64,061,989	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	71,615,289	_	
	賞与·退職給与引当金繰入額	2,157,438	_	_		行政収支差額	△113,775,345	_	_
	その他	0	_			金融収支差額	0	_	_
	小 計	185,390,634	_			通常収支差額	△113,775,345	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△113,775,345	_	
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	113,885,670	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	110,325	_	_

② 決算額の主な内訳

	- IC () 工·G () ID (
勘定科目	扶助費	勘定科目	物件費
決算額の 主な内訳	·各種援助(小学校) 53,620,978円 ·各種援助(中学校) 51,999,818円	決算額の 主な内訳	・米穀の給付(小学校給食) 29,466,457円・米穀の給付(中学校給食) 7,832,110円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目	補助費等	勘定科目	国庫支出金
	・卒業記念アルバム、文集代および修学旅行費補助金(中学校) 21,061,304円 ・卒業記念アルバム、文集代費補助金(小学校) 8,800,000円	決算額の 主な内訳	・修学旅行実施に係る補助金 6,424,300円・就学援助費及び就学奨励費 569,000円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

② 行政弗用の歴質別割る

3) 行政	質用	の性質が	<u>判割台</u>				
0	1%	20	0% 40	0% 60	0% 80	0%	100%
	人件費 5.5%	物件費 20.1%		扶助費 57.1%		補助費等 16.1%	その他 1.2%
平成30年度						<u> </u>	
			·				

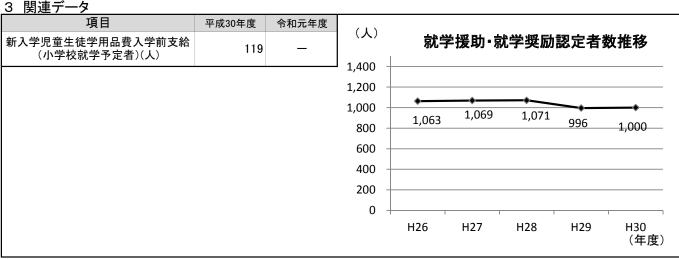
								\ I - 1 1 /	
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
	刨足科日	Α	В	B-A		一	Α	В	B-A
流	収入未済	461,632	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	_
資産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	610,806	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	_
固	建物	0 — —	_	固定負	特別区債	0	_	_	
定	工作物	0	_		正	退職給与引当金	10,973,697	_	_
資	重要物品	0	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_			負債の部合計	11,584,503	_	_
	建設仮勘定	0	<u> </u>	_		正味財産の部合計	△11,122,871	_	_
	その他	0	_	_	- 4	債・正味財産の部合計	461,632		
	資産の部 合計	461,632	_	_	早1	貝・上外別 注り引っ引	401,032	_	_

⑤ 油質類の主た内記

り 大昇	- 俄の土な内訳		
勘定科目	収入未済	勘定科目	
決算額の 主な内訳	·新入学児童生徒学用品費戻入 461,632円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な		主な	

主な 増減理由

増減理由



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・新入学児童生徒学用品費については、保護者の経済的負担への軽減に資するよう、平成31年4月入学児童・生徒分から、入 学準備を行う期間の支給を開始した。
- ・児童および生徒数が増加する中、就学援助・就学奨励認定者数は1,000人前後で推移している。
- ・米飯給食用の米を区が購入することで、成長期にある児童および生徒に必要な栄養素を満たす学校給食を保護者負担の軽 減を図りながら提供している。

② 今後の方向性

・児童および生徒数が増加傾向にあり、新入学児童生徒学用品費の支給額や米穀の給付量についても増加が見込まれる中、 将来的な財政負担や他区の状況等にも配慮しながら、保護者負担の軽減を図っていく。

部課名 教育委員会事務局指導室

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。

目標

ない回い。記号を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。
・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	教員の指導研究	中事業2	教員の研究奨励	中事業3	教員の指導力向上支援
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
教員の指導力向上事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・教科指導書の購入、各種委員会・協議会での研究・協議、学習カサポートテスト等の実施を通して、本区における教育課題の分析、教育内 容・指導方法の充実や授業改善を図る。
- ・区教委および都教委の指定による研究奨励校・推進校、各校園の校内研究、教育会研修会において教科・領域の実践的研究を行い、その 成果を発表することにより、学校教育の充実を図る。
- ・特別支援教育アドバイザーの派遣により、教員の特別支援教育への理解を深め、指導力の向上を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

\sim							\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	28,493,739	_			地方区税	0	_	_
	物件費	26,404,804	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0	_		行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	823,022	_	_
行	補助費等	7,304,285	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_		入	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	0	_			その他	8,528,000	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小計	9,351,022	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	2,271,604	_	<u>—</u>		行政収支差額	△55,123,410	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	64,474,432	_			通常収支差額	△55,123,410	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△55,123,410	_	_
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	56,036,987	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	913,577	_	_

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
	・教科書・副読本の購入、印刷等 13,163,941円 ・学習カサポートテスト業務委託 8,527,766円 ・コピー用紙他消耗品の購入 4,592,137円	決算額の 主な内訳	・校内研修会等の講師謝礼等 7,021,250円・教科書選定委員会委員謝礼 283,035円
主な 増減理由		主な 増減理由	_

勘定科目	都支出金	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の 主な内訳	 人権尊重教育推進校事業費都委託金 356,544円 ・スーパーアクティブスクール事業費都委託金 276,130円 ・道徳教育推進拠点校事業費都委託金 190,348円 	決算額の 主な内訳	日本橋プラザ土地貸付収入 8,528,000円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

③ 行政費用の性質別割合



	天旧八小八八								\ + +
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	A	В	B-A		刮足件日	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_		動	特別区債	0	_	
産	その他	0	_	ı	負	賞与引当金	2,198,319	_	_
	土地	0	_	_	債	その他	0	_	
固	建物	0 — —	_	固定	特別区債	0	_	_	
定	工作物	0	_	_	正 負	退職給与引当金	10,287,841	_	
資	重要物品	0	_	_	債	その他	0	_	
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	12,486,160	_	
	建設仮勘定	0 — —		_		正味財産の部合計	△12,486,160	_	
	その他	0	_		台	責・正味財産の部合計	0		
	資産の部 合計	0	_	_	貝	貝・正外別注の即口司	U	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

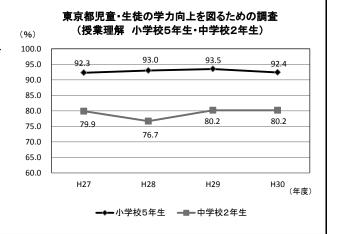
	:徴の土な内訳		
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由		主な 増減理由	_
#1 # 4 5 1 = 1		#1 # 41 =	1
勘定科目		勘定科目	
勘定科目 決算額の 主な内訳		勘定科目 決算額の 主な内訳	

3 関連データ

幼稚園・小中学校教員経験年数

□1~5年 □6~10年 □11~15年 ■16~20年 ■21年以上

H30 (490人) 121 130 104 83 H29 (477人) 116 120 106 93 H28 (447人) 103 123 88 103 65 28 H27 (429人) 128 101 107



4 総括

① 現状・成果・課題

・指導力に優れた教員をメンタティーチャーとして認定(平成30年度4名)した。メンタティーチャーによる模範授業(小・中学校初任者・2・3年次研修及び中堅教諭等資質向上研修 I)を各1回(計4回)、研究授業における指導・助言で12回、巡回指導で101回(1教員あたり3回)、合計117回の研修を実施した。また、幼稚園における指導・助言(採用2・3年目の教員向け計18回)等、教員の指導力向上に向けた取組を着実に推進した。若手教員が増加する中、メンタティーチャーのさらなる人材確保、資質向上や活動への支援が必要である。

・小学校5年生と中学校2年生を対象とした東京都学力調査において、「授業が分かる」と回答している児童・生徒の割合は、上記のとおりである。授業改善を進めるとともに、教員研修を通した、教員の指導力の向上を継続的に図っていく必要がある。

・医師や臨床心理士等の特別支援教育アドバイザーを幼稚園、宇佐美学園、特別支援学級設置校に年3回、小・中学校に年1回派遣し、教 員に対し特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の指導についての専門的な指導・助言を行い、教員の指導力向上を図った。

② 今後の方向性

・メンタティーチャーは、若手教員の資質向上に大きな役割を果たしている。引き続き、模範事業や研究授業、巡回指導において指導・助言を 行うとともに、フォローアップが必要な教員については個別に指導を行うなど、若手教員の指導力向上を図っていく。また、連絡会を設定し、 指導方法について連携を図るほか、指導主事等から助言を得る場とするとともに、メンタティーチャーが行う先進校・先進地区の視察や研究 用図書資料等の購入経費の補助等、メンタティーチャー自身の資質向上に向けた取組を継続的に支援していく。

・学習カサポートテストは、児童・生徒の学習状況を把握する上で重要な役割を担うとともに、詳細に分析することで教員の授業改善を図ることに役立てることができる。令和元年度より小学5年生を新たに加え、小学4年生から中学3年生までの経年変化を把握し、結果に基づいて作成する学力向上プランの実施を通して、教員の授業改善を図っていく。

・特別支援教育アドバイザーの派遣や具体的な指導方法等の研修を通じ、教員の特別支援教育への理解を促進するとともに、教員の指導力向上を図っていく。

部課名 教育委員会事務局指導室

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。

目標

む良い高い扱うと展開しているす。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	学習指導等の充実	中事業2	国際教育の推進	中事業3	パイロット校における国際教育・理数教育の推進(常盤小学校・城東小学校)
	中事業4	オリンピック・パラリンピック教育の推進		ICT機器の活用推進	中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
確かな学力の向上事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む知・徳・体のバランスのとれた教育の推進により、「生きる力」の育成を図る。
- ・子どもたちの学習意欲を高め、児童・生徒一人一人の「個性と能力を伸ばす」質の高い教育を展開する。 ・国際的視野を持つ児童、生徒の育成を図る。特に外国語で表現する能力を養い、外国語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする実践的な態度を育成す
- ・ICT機器を効果的に活用し、子どもたちの知的好奇心を喚起するわかりやすい授業を展開する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

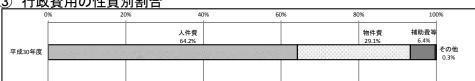
(単位:円)

							\ + + 1 1/		
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	462,193,509	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	209,752,939	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	1,774,000	_	_
	扶助費	0	_	_	政収	都支出金	12,028,346	_	_
行	補助費等	46,148,520	_	_		分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_	_	入	使用料及び手数料	0	_	_
角	減価償却費	0	_	_		その他	561,890,622	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	575,692,968	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	2,161,472	_	_		行政収支差額	△144,563,472	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	720,256,440	_	_		通常収支差額	△144,563,472	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△142,212,617	_	_
	特別収入	2,350,855	_	_		一般財源充当調整	146,913,386	_	_
	特別収支差額	2,350,855	_	_	再	計(一般財源調整後)	4,700,769	_	_

② 決算額の主な内訳

勘定科目	人件費	勘定科目	物件費
決算額の 主な内訳	・非常勤講師等の報酬 412,538,768円 ・小学校英語講師報酬 17,469,985円	決算額の 主な内訳	・中学生海外体験学習消耗品等の購入 967,102円・オリンピック・ハラリンピック教育消耗品等の購入 5,985,985円・小学校英語指導等業務委託 20,218,916円・ICT機器活用推進サポート業務委託 1,520,640円・学習指導サポーター臨時職員賃金等80,359,865円・国語等指導助手派遣料 96,767,035円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目	補助費等	勘定科目	
勘定科目 決算額の 主な内訳	補助費等 ・学習指導サポーター、部活動外部指導員等の謝礼 37,709,150円・オリンピック・パラリンピック教育学習等講師謝礼 6,874,800円	勘定科目 決算額の 主な内訳	その他(行政収入) ・日本橋プラザ土地貸付収入 559,764,000円 ・非常勤講師等の雇用保険料等 1,609,122円

③ 行政費用の性質別割合

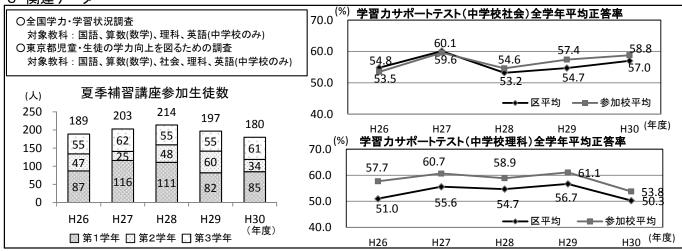


\sim	スロババル								\ + + 1 1 /
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		刨处针日	Α	В	B-A
流	収入未済	人未済 31,696 — — —		流	還付未済金	0	_	_	
動資	不納欠損引当金		動	特別区債	0	_	_		
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	2,161,472	_	_
	土地	0	0 — —	_		その他	0	_	_
固	建物	0	_	_	固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_		正	退職給与引当金	15,774,690	_	_
資	重要物品	0	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_			負債の部合計	17,936,162	_	_
	建設仮勘定	0	_	_		正味財産の部合計	△17,904,466	_	_
	その他	0	_	_	4	債・正味財産の部合計	31.696		
	資産の部 合計	31,696	_	_		順・正怀別 性の即口引	31,090	_	

⑤ 決算額の主な内訳

(5) 決算	額の王な内訳		
勘定科目	収入未済	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・非常勤報酬中途退職者未返還金 31,696円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
#1 # 2 = 1			
一种完料日		斯完利日	
勘定科目		勘定科目	
		勘定科目 決算額の	
勘定科目 決算額の 主な内訳			
決算額の		決算額の	

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・学習カサポートテストおよびその結果に基づく個人票やフォローアップシートの活用のほか、少人数指導、中学生を対象とした夏季補習講座や小学校での放課後補習を実施し、基礎学力の定着を図った。全国学力・学習状況調査および東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査において、本区平均正答率が東京都平均を上回っている一方、学習カサポートテストでは、理科と社会において、参加校平均を下回る学年があった。

・全小中学校への外国人英語指導講師の配置により、英語指導等の充実を図るとともに、中学生海外体験学習等の活動を通し、子どもたちの国際感覚の育成を図った。

・国際教育パイロット校(常盤小)では、文部科学省の「教育課程特例校」として、「英語科」「国際科」等の学習指導要領の内容を超える取組を進めた。理数教育パイロット校(城東小)では、早稲田大学と連携した実験教室等を実施した。また、両校においては、タブレット端末を活用し、児童の興味・関心や習熟度に応じた個別学習、反復学習等を実施した。・全小中学校・幼稚園において、オリンピック・パラリンピック学習、中央区版「一校一国運動」を通した学習、ハートフルスポーツ、体力向上に向けた取組を各校の主体性や創意工夫

・全小中学校・幼稚園において、オリンピック・パラリンピック学習、中央区版「一校一国運動」を通した学習、ハートフルスポーツ、体力向上に向けた取組を各校の主体性や創意工夫のもと推進した。また、中央区オリンピック・パラリンピック教育推進協議会を開催し、各校・幼稚園の取組について情報交換し、充実・拡大につなげた。東京2020大会に向け、英語による実践的なコミュニケーション能力の向上を図るため、中学校1・2年生を対象としてオリンピック・パラリンピック英語講座を実施した。

・都のICT教育環境整備支援事業に参加した京橋築地小・阪本小・銀座中における成果を踏まえ、学習効果を高めるためのICTの環境整備や教員のICT活用能力の向上に向けた取組を強化していく必要がある。

② 今後の方向性

・学校のニーズに合った専門的知識や技能を有する非常勤講師等の安定的確保に努めるほか、研修会等を通じ指導力の向上を図っていく。また、一人一人の学習状況をより詳細かっ継続的に把握するため、学習力サポートテストに小学5年生を新たに加える。また、中学1・2年生を対象とした放課後補習講座を開設し、生徒の基礎学力の定着を図っていく。・小学校英語教育推進協議会において、指導方法や外国人英語指導講師との連携した授業づくりのあり方を検討し、小学校英語の教科化に向けた準備を進める。また、中学生海外体験学習等での直接的な交流やオーストラリア文化等を学ぶ機会の充実により、引き続き子どもたちの国際感覚の育成を図っていく。

・国際教育パイロット校(常盤小)および理数教育パイロット校(城東小)の各校において、年間を通じた授業研究日を公開授業として位置付け、全小中学校・幼稚園教員に対して実践報告をするとともに、具体的な取組内容を共有・協議し、自校園の取組に生かすようにしていく。 ・全小中学校・幼稚園において、中央区版「一校一国運動」を通じたメイン交流国との直接的な交流学習を引き続き実施し、さらなる国際理解の促進を図り、多様性を受け入れる力を

・全小中学校・幼稚園において、中央区版「一校一国運動」を通じたメイン交流国との直接的な交流学習を引き続き実施し、さらなる国際理解の促進を図り、多様性を受け入れる力を 育んでいく。また、ラグビーワールドカップ2019の開催を機に、東京2020大会に向けて一層の気運醸成を図るとともに、競技の応援につながる取組を進め、幼児・児童・生徒のスポー ツ志向の拡大を図る。また、ブラジルオリンピック委員会との覚書に基づき、中学生をブラジリアン・ユース・スクールゲームズに派遣し、国際交流を推進していく。

・ICT環境の整備については、その充実に向け、京橋築地小、阪本小、銀座中の研究成果を検証し、子どもたちの知的好奇心を喚起する分かりやすい授業を展開するための指導方 法や内容を全小中学校に発信していくとともに、ICT教育推進検討委員会における検討を進めていく。

部課名 教育委員会事務局指導室

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。

目標

ない回い。記号を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。
・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	特別支援教育専門員の配置	中事業2	特別支援学級運営(小学校)	中事業3	特別支援学級運営(中学校)
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
特別支援教育推進事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

ターの活用も含めた校内支援体制の充実を図る。また、関係機関との連携のもと、就学前の幼児期から中学校卒業までの一貫した特別支援教育の推進を図

・小学校および中学校において、児童・生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえた特別支援学級や通級指導学級、特別支援教室の教育活動を展開していく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A			Α	В	B-A
	人件費	42,240,803		_		地方区税	0	_	
	物件費	13,381,996	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	2,026,000	_	_
行	補助費等	1,099,400	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_	_	入	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	0	_	_		その他	0	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	2,026,000	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	2,507,722	_	_		行政収支差額	△57,203,921	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	59,229,921	_	_		通常収支差額	△57,203,921	_	_
	特別費用	0	_			当期収支差額	△57,203,921	_	
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	58,181,129	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	977,208	_	_

② 決算額の主な内訳

勘定科目	人件費	勘定科目	物件費
決算額の 主な内訳	特別支援教育専門員報酬 15,866,693円特別支援教室講師報酬 6,248,772円	決算額の 主な内訳	特別支援教室等運営経費 6,834,065円特別支援教室等備品購入費 3,254,006円通学用自動車運行等委託 2,184,840円
主な 増減理由		主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	
勘定科目 決算額の 主な内訳		勘定科目 決算額の 主な内訳	

② 行政専用の歴歴別割合

<u>3)1丁以</u>	貧用の性負別	<u> 刊制管</u>					
0	% 20	9% 4	0% 60	0% 8	0%	100%	
		人件費 71.3%			物件費 22.6%	補助費等	
平成30年度							·の他 1.2%

•	F(10 /1) /// 10 /2								\
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		世 代 日	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_		負	賞与引当金	1,305,847	_	_
	土地	0	_	_	債	その他	0	_	_
固	建物	0	_	_	固定	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	正 負	退職給与引当金	15,774,690	_	_
資立	重要物品	0	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	17,080,537	_	_
	建設仮勘定	0	_	_		正味財産の部合計	△17,080,537	_	_
	その他	0	_		台	責・正味財産の部合計	0		
	資産の部 合計	0	_	_	貝	貝・エネ別注の即口引		_	_

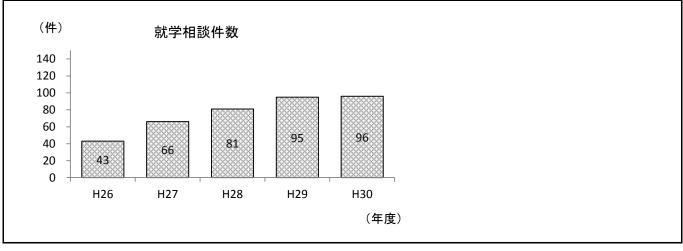
⑤ 海質類の主た内部

	- 徴い土な内訳		
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由		主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	

増減理由

3 関連データ

增減理由



4 総括

① 現状・成果・課題

・就学相談および特別支援教室の運営にかかる経費が行政費用の大半を占めている。

- 就学相談及び通級・通室調整会議における対応件数は、昨年度より増加しており、特別支援教育専門員の果たす役割が高まっている。
- ・明正小学校における通級指導学級(言語障害・難聴)については、指導を必要とする児童および保護者のニーズを捉えて入級人数は増加傾向にある。
- 中央区子ども発達支援センターや都立特別支援学校等の関係機関との連携のもと、各学校・幼稚園の特別支援コーディネーターが中心となり幼児・児童・
- 生徒一人一人のための特別支援教育を推進することができた。
 ・小学校においては、平成30年度から教員の巡回グループを見直し、特別支援教室拠点校を6校に増やすとともに、中学校においては、平成30年度から全4 校に特別支援教室の設置および特別支援教室拠点校1校による巡回指導を開始するなど、特別支援教室における指導体制の充実を図った。
- ・心理の専門家および医師を特別支援アドバイザーに指定して、幼稚園、小・中学校に派遣し、学習等に課題を抱える幼児・児童・生徒や特別支援学級の児 童・生徒に対する望ましい教育的対応について、専門的な助言を行っている。

- ② 今後の方向性 ・発達障害のある児童・生徒が在籍する学校でより適切な支援を受けられる体制を強化するため、全小中学校に設置された特別支援教室における教員の指 導力の向上に向けた取組を推進していく。
- ・明正小学校における通級指導学級(言語障害・難聴)については、対象と考えられる児童や保護者に指導内容等を周知するなど、その障害特性から見過ご され、障害に気付きにくいケースに対し、適切な指導が受けられるよう支援をしていく。
- ・子ども発達支援センターゆりのきが推進する「中央区育ちのサポートカルテ」を活用し、福祉、医療、保健等児童・生徒に関わる機関における育ちの特性へ の理解の共有を図るとともに、関係機関の連携を深めながら、幼児期から学齢期まで切れ目のない支援を展開していく。

部課名 教育委員会事務局指導室

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-1 子どもたちの可能性が開花する教育の推進

・「知識および技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力・人間性」の涵養と「主体的・対話的で深い学び」を通じて、先行き不透明な社会をたくましく生き抜く子どもを育みます。また、学校と家庭が連携し子どもたちの基本的生活習慣の定着を図るとともに、生涯にわたって心身ともに「健やかな体」、互いの個性や多様性を尊重し他者を思いやる「豊かな心」を育む質の高い教育を展開していきます。

目標

む良い高い扱うと展開しているす。 ・特別な教育的支援を必要とする子どもたちのニーズに応える教育環境の整備により、一人一人が可能性を最大限に伸ばし、自立して生きていく力を育んでいきます。 ・児童数が増加する中にあっても良好な教育環境を確保するため、学校施設の整備等を計画的に推進します。また、都心の立地条件を最大限にいかした特色ある教育活動の展開、サポーターや 地域の方々の協力のもと放課後等に安全かつ安心して時間を過ごせる居場所づくりを進めるなど、地域コミュニティの核の一つともなる魅力ある学校づくりを推進していきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	教育センター運営	中事業2	教育相談	中事業3	心を育てる教育の推進
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
教育センター管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・児童・生徒の学力向上につなげるための事業、教育調査研究および教員研修充実のための事業、各種研修会を教育センターで実施することにより、学校教 育の充実および振興を図る。

・幼児、児童生徒の発達や養育、教育上の問題点について相談を受け、専門的な技法を用いて援助することにより、心理的な安定を図り、新たな視点から自 分を見つめ、本来持っている力を出すことで課題を解決できる能力を育成する。

・不登校等の児童・生徒の在籍校復帰に向けた学習支援等を行うため、子どもたち一人一人の生活や学習状況を把握し、学校等との連携を図りながら主体 的・社会性を育む取組を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	105,581,071	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	43,186,106	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	0	_	<u>—</u>
	扶助費	0	_	_	政	都支出金	806,627	_	_
行	補助費等	2,976,349	-	_	収	分担金及び負担金	0	_	
政費	投資的経費	0	_	_	入	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	15,163,300	_	_		その他	16,977,388	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	17,784,015	_	<u>—</u>
	賞与·退職給与引当金繰入額	2,917,765	_	_		行政収支差額	△152,040,576	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	169,824,591	_			通常収支差額	△152,040,576	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△152,040,576	_	_
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	136,252,365	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	△15,788,211	_	_

② 決算額の主な内訳

勘定科目	人件費	勘定科目	物件費
決算額の 主な内訳	専任教育相談員報酬 50,629,486円教育センター講師報酬 35,884,296円	決算額の 主な内訳	・維持管理等業務委託 21,343,733円・光熱水費 12,416,942円
主な 増減理由		主な 増減理由	_

勘定科目	減価償却費	勘定科目	補助費等
決算額の 主な内訳	- 教育センター(建物) 15,163,300円		教育センター教室指導員謝礼 578,000円・カウンセリング研修会講師謝礼 515,000円・命と心の授業講師謝礼 344,000円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

② にみまりの性を別割る

0%	20%	40%	60%	80%		100%
		人件費 62.2%		物件費		÷の他 .0.6%
平成30年度			100 m		₩	XXX

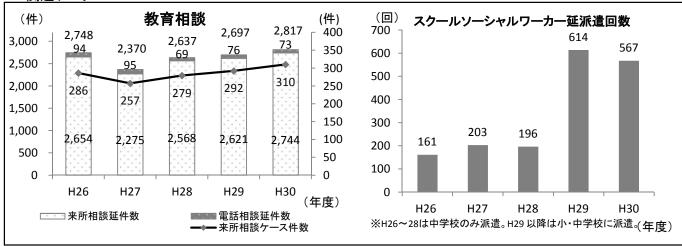
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		刨处针日	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_	_	負	賞与引当金	1,475,644	_	<u>—</u>
	土地	0 — —	債	その他	0	_	_		
固	建物	212,286,230	_	_	固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	正 各	退職給与引当金	9,601,985	_	_
資	重要物品	0	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	11,077,629	_	_
	建設仮勘定	0	_	_		正味財産の部合計	201,208,601	_	_
	その他	0	_	-	・ 負債・正味財産の部合計		212,286,230		
	資産の部 合計			貝・止味別性の部合計	212,280,230	_	_		

⑤ 決算額の主な内訳

<u> </u>			
勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の	・教育センター 212,286,230円	決算額の	
主な内訳		主な内訳	
++>		→ + \	
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
垣凞垤田		「	
勘定科目		勘定科目	

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	, 	主な 増減理由	_

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・教育センターでは、区内幼稚園、小学校、中学校の教員および講師等の職員の資質および指導力の向上を目的にさまざまな研修を実施している。また、教育センター講師を1名増員し、学校支援担当として全小中学校・幼稚園を巡回し、管理職の業務支援を行うとともに、学校運営に主として携わる教員へ助言し、円滑な学校運営の推進を図った。さらに、学校問題ほっとラインを開設し、全小中学校・幼稚園に関する保護者の相談を受け付けた。

・全小学3・4年生を対象に、プラネタリウムや実験教室を中心としたセンター教室を実施し、科学に対する興味・関心を高めた。 ・教育相談やスクールカウンセラーへの相談では、学校と連携して不登校やいじめに適切に対処するため、児童・生徒の変化を 早期に察知・把握する体制ときめ細かな対応が必要である。また、不登校児童・生徒のうち、学校内外で専門的相談・指導を受けていない児童・生徒が増えているため、何らかの相談・指導につなぐ取組の重要性が高まっている。

② 今後の方向性

・教育センター講師を増員し、引き続き学校運営の支援を実施するほか、教員研修やセンター教室を充実させ、教員の資質能力および指導力の向上を図っていく。

・スクールカウンセラーによる面談、スクールソーシャルワーカーによる巡回訪問をこまめに実施し、児童・生徒の変化を迅速に 把握するとともに、関係機関等と連携して対応していく。また、不登校の児童・生徒においては、適応教室の専門員が適応教室 での指導に加え、学校を訪問し、不登校傾向の児童・生徒の様子を観察するとともに、保護者を交えた面談等のアプローチを 進めていく。

部課名

区民部文化 生涯学習課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-2 希望に満ち、次代を担う子どもの育成

・地域全体で家庭教育を支援するため、家庭・学校・地域と連携しながら、保護者が家庭教育について学ぶ機会を提供するなど、子どもを育む 施策の「親カ」の向上を図ります

目標

・地域が自主的に取り組む活動を支援し、青少年の活動参加の機会を増やし、子どもたちの健全育成に携わる指導者となれるよう人材を育成し ていくことで、青少年の健全育成を推進します。

関連する個別計画

大事業	中事業1	家庭教育への支援	中事業2	中事業3	
	中事業4		中事業5	中事業6	
	中事業7		中事業8	中事業9	
家庭教育の推進事業	中事業10		中事業11	中事業12	
	中事業13		中事業14	中事業15	
	中事業16		中事業17	中事業18	

1 事業の目的

・すべての親が安心して家庭教育を行える環境を、地域社会全体で支えていくことにより、育児不安や負担を軽減するととも に、家庭の教育力の向上を図る。

2 財務情報
① 行政コスト計算書 (単位·円)

① 打図コスト計算者					<u> </u>				
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	4,301,508	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	0	_			特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0	_		 行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	0	_	_
行	補助費等	3,519,265	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_	_	入	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	0	_	_		その他	0	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	0	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	3,384,768	_	_		行政収支差額	△11,205,541	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	11,205,541	_			通常収支差額	△11,205,541	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△11,205,541	_	_
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	8,362,493	_	
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	△2,843,048	_	_

② 決算額の主な内訳

	FIRVノエ・のドゥのト		
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

③ 行政費田の性質別割合

人件費 補助費等 その他 38.4% 31.4% 30.2%	(9% 20	0% 40	0% 60	0% 80	0% 100
平成30年度		人作 38.	+費 4%			その他 30.2%
VAYAYAYAYAYAYAYAYAYAYAYAYAYA	平成30年度				****	

	A ID / I I I I I I								\ + + 1 1
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		一	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	229,052	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	_
固	建物	0	_	_	固	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	固定負	退職給与引当金	4,115,136	_	_
資	重要物品	0	_	-	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	4,344,188	_	_
	建設仮勘定	0	_			正味財産の部合計	△4,344,188	_	_
	その他	0	_	_	負債・正味財産の部合計		0		
	資産の部 合計	0	_	_			0	_	

⑤ 決算額の主な内訳

<u> </u>		
勘定科目	勘定科目	
決算額の主な内訳	決算額の 主な内訳	
土な内部	土な内部	
主な	主な	
増減理由		
勘定科目	勘定科目	
決算額の	決算額の	
主な内訳	主な内訳	

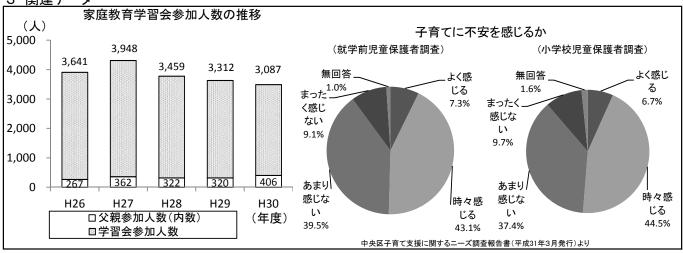
主な

增減理由

3 関連データ

主な

増減理由



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・行政費用は家庭の教育力の向上を図る目的で地域家庭教育推進協議会に対する支援をしているため、補助費が31.4%である。
- ・平成30年度は家庭教育学習会を71回(子育てサポートボランティア研修1回含む)、報告・交流会を1回開催した。
- ・家庭教育学習会への父親の参加は増加傾向にはあるが、さらに子育てへの参加を促進するため、父親が参加しやすい内容や時間帯での学習会の実施が求められている。
- ・家庭教育学習会は幼稚園、小・中学校やPTA、地域の子育て支援団体等の協力を得て実施し、多くの保護者が参加しているところであるが、学習会への参加が難しい家庭や、地域との関係が希薄であり子育てに不安や負担を感じている保護者等に対して周知を図り、参加を促進していく必要がある。

② 今後の方向性

- ・父親の子育て参加促進のため、「おやじの出番」等子育てに関わる契機となるような学習会の提供をさらに進めていく。
- ・地域家庭教育推進協議会と各幼稚園、小・中学校やPTAが協力し、参加が難しい保護者への周知方法やテーマ、開催時期等を考慮し学習会を実施する。

部課名 区民部文化 生涯学習課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-2 希望に満ち、次代を担う子どもの育成

・地域全体で家庭教育を支援するため、家庭・学校・地域と連携しながら、保護者が家庭教育について学ぶ機会を提供するなど、子どもを育む 施策の「親カ」の向上を図ります

目標

・地域が自主的に取り組む活動を支援し、青少年の活動参加の機会を増やし、子どもたちの健全育成に携わる指導者となれるよう人材を育成し ていくことで、青少年の健全育成を推進します。

関連する個別計画

大事業	中事業1	青少年の健全育成	中事業2	青少年問題協議会運営等	中事業3	青少年委員会·地区委員会活動
	中事業4	成人の日記念式典	中事業5		中事業6	
青少年の健全育成事業	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・青少年の指導・育成等に関する総合的な施策の策定と適切な実施により青少年の健全育成を推進する。
- ・地域が自主的に取り組む活動を支援し、青少年の活動参加の機会を増やすことで、青少年の自発的な地域参加を促す。
- ・国民の祝日である「成人の日」に、新たに成人となる中央区民を祝い励ますことにより大人としての自覚を持つ契機とする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

<u> </u>	1122-1117-1		- \ \ \ \ - \ - \ - \ \ \ \ \ \ \ \ \ \				T	\ _ <u>-</u>	
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	41,288,719	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	8,096,497	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	0	_	_
行	補助費等	33,767,871	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_	_	入	使用料及び手数料	0	_	_
用用	減価償却費	0	_	_		その他	693,000	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小計	693,000	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	4,883,264	_	_		行政収支差額	△87,343,351	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	88,036,351	_	_		通常収支差額	△87,343,351	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△87,343,351	_	_
	特別収入	0		_		一般財源充当調整	88,776,421		_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	1,433,070	_	_

② 決質類の主か内訳

	祖の土は内訳 ニューニー		
勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・青少年対策地区委員会運営・バス借上げ補助 12,591,180円・子どもフェスティバル事業運営補助等 9,878,380円・新成人のつどい事業運営補助等 8,180,459円	決算額の 主な内訳	・青少年健全育成概要印刷ほか消耗品購入等 4,091,946円・少年リーダー養成研修会等実施に係る業務委託 1,876,974円・少年リーダー養成研修会等実施に係るバス借入れ 1,179,447円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・少年リーダー養成研修会参加費 693,000円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由		主な 増減理由	

③ 行政費田の性質別割合

人件費 物件費 補助費等 その他 46.9% 9.2% 38.4% 5.5% 平成30年度	<u>3) 行政質用の</u> ※	<u>注更別制宣</u> 20%	40%	60%	80%	100
平成30年度		人件費 46.9%			補助費等 38.4%	
17965-106	平成30年度					****

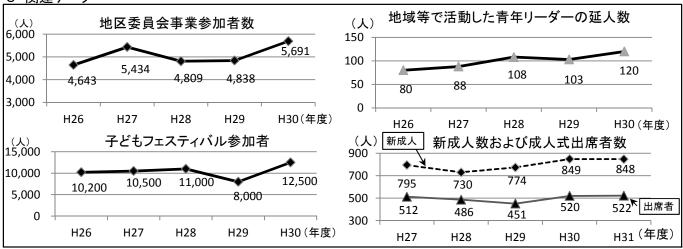
•	スロババル								
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A			Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_		動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_	_	負 賞与引当金 債		2,061,472	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	_
固	建物	0	_		固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	疋	退職給与引当金	37,036,228	_	_
資	重要物品	0	_		債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_			負債の部合計	39,097,700	_	_
	建設仮勘定	0	_	_		正味財産の部合計	△39,097,700	_	_
	その他	0	_	_	4	唐. 正吐肚奈の如今卦	0		
	資産の部 合計	0	_	_	負債・正味財産の部合計		U	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

	<u> </u>	
勘定科目	勘定科目	
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由		_
勘定科目	 勘定科目	
決算額の	決算額の	

一一一		一一一	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・行政費用のうち、青少年の健全育成事業を行う団体への補助費等が38.4%を占めている。
- ・青少年の健全育成を目的として青少年対策地区委員会が各地域の実情に合わせたイベント等を行っており、地区委員会運営やバスハイク実施に対し助成することで活動の補助を行ってきた。
- ・青少年の地域行事等への参加を促すため、少年リーダー養成研修会や子どもフェスティバル等の事業を展開しており、参加者等は順調に増加してきている。
- ・少年リーダー養成研修会や新成人のつどい実行委員会のOB、OGの中から有志を募り、青年リーダーとして定期的な連絡会や研修会を実施し、育成を進めてきた。今後、さらなる活動の場の拡充を図っていく必要がある。

- ・各地区委員会の実情は異なっており、公平性を保ちながらもそれぞれの実態に合ったきめ細かな支援を行っていく。
- ・少年リーダー養成研修会は青少年委員との連携を図り、宿泊研修の日数見直し等研修生やスタッフの健康面を重視した日程・プログラムで展開していく。また、子どもフェスティバルは子どもたちがコーナー運営の手伝いに積極的に参加することで、より青少年の健全育成を促進する事業として充実させていく。
- ・青年リーダー事業については、地域からの依頼に対し、安定的に派遣できるよう、活動できる青年リーダーの確保に努めるとともに、区や地域の行事において一部の事業を企画・立案させ、運営を任せるなど自主性や自立性を身につけた青年リーダーの育成を進める。

部課名

区民部文化 生涯学習課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-3 生涯にわたり学ぶ喜びを分かち合える学習活動の推進

・あらゆる区民の学びや活躍の機会を拡充し、自己実現と生きがいづくりを支援します。また、学習活動・ボランティア活動を通じて、人々の出会 他策の いと学び合いを促進する生涯学習活動の担い手を育成します。

目標

・図書館において、区民一人一人の知的好奇心を満たし、多様な学びが広がる場をつくっていきます。また、子どもたちの読書活動を推進し、本を読むことを通じて知識、教養、豊かな感性、思いやりの心を育んでいきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	社会教育会館の管理運営		社会教育会館の改修	中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
社会教育会館管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民に社会教育の機会と場所を提供し、社会教育の振興を図ることを目的として設置している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

								/ - - 1 1/	
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	8,322,850	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	339,477,373	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	88,890	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	0	_	_
行	補助費等	0	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	84,149,422	_	_	入	使用料及び手数料	67,817,690	_	_
用	減価償却費	154,841,141	_	_		その他	451,020	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	68,268,710	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	1,795,716	_	_		行政収支差額	△520,406,682	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	588,675,392	_			通常収支差額	△520,406,682	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△520,406,682	_	_
	特別収入	0	_	_		一般財源充当調整	365,133,431	_	_
	特別収支差額	0	_	_	再	計(一般財源調整後)	△155,273,251	_	_

② 決算額の主な内訳

\mathcal{L}	「現り」上、ひょうりく		
勘定科目		勘定科目	投資的経費
決算額の 主な内訳	-指定管理料 236,426,716円-光熱水費 42,713,150円	決算額の 主な内訳	·社会教育会館工事費 84,149,422円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の 主な内訳	·社会教育会館使用料 67,817,690円	決算額の 主な内訳	・コピーおよび公衆電話使用料 451,020円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

③ 行政費田の性質別割合

	% 2	0% 40	0% 60	l% 8L	100%
	人件費	物件費 57.7%		その他 40.9%	
成30年度					

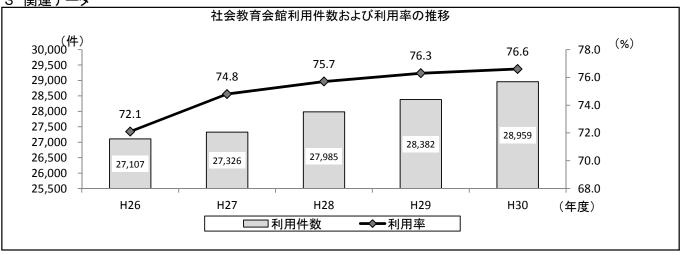
	スーロ ノコ ハハ ンヘ								\ _ _ _ 1 3 /
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	Α	В	B-A		刨 足件日	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_		流	還付未済金	0	_	
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_		負	賞与引当金	458,105	_	_
	土地	877,980,000	_	_	債	その他	0	_	_
固	建物	2,408,085,936	_	_	固定	特別区債	0	_	_
定	工作物	4,330,530	_	_	正 負	退職給与引当金	8,230,273	_	_
資	重要物品	2,384,647	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	8,688,378	_	_
	建設仮勘定	0	_	_		正味財産の部合計	3,284,092,735	_	_
	その他	0	_	_	4	佳. 正吐肚奈の如今計	3,292,781,113		
	資産の部 合計	3,292,781,113	_	_	- 負債・正味財産の部合計		3,282,781,113	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

\odot \wedge	弁領リエはりい		
勘定科	⊒│ 建物	勘定科目	土地
決算額 主な内		決算額の 主な内訳	·築地社会教育会館土地 877,980,000円
主な 増減理	<u>—</u>	主な 増減理由	_

勘定科目	工作物	勘定科目	重要物品
決算額の 主な内訳	·月島社会教育会館舞台照明設備 4,330,530円	決算額の 主な内訳	・アートはるみ電気陶窯他8台 2,384,647円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・行政費用のうち、物件費が57.7%を占めており、そのうち69.6%を指定管理料が占めている。
- ・利用件数、利用率とも年々上がっている。特に利用率は4館平均で76.6%と高い実績となっている。
- ・利用者懇談会等で意見や要望の把握に努めているが、利用者の増加に伴い、「サークル活動に必要な備品類の充実や活動をもっと広報して欲しい」等、利用者の館に対する要望も多様化している。
- ・平成30年度は築地社会教育会館体育場の天井および床、月島社会教育会館ホールの天井の改修工事を行い、施設の安全性や利用者の利便性を高めた。

- ・利用者に各部屋の曜日や時間帯ごとの利用率の情報を提供したり、自主事業を閑散期に行うなど効率的に施設を利用することで利用者が部屋を確保しやすいように工夫していく。
- ・現在行っている月に一回の定例会議のほか、課題を解決していくための担当者会議を定期的に開催するなど、専門知識を持つ指定管理者と連携を密にし、利用者のニーズにきめ細かく対応していく。
- ・施設(設備)に関しては、区と指定管理者で情報を共有し、利用者の利便性に配慮しながらコスト意識を持ち、計画的に改修 工事等を行っていく。

部課名 区民部文化 生涯学習課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-3 生涯にわたり学ぶ喜びを分かち合える学習活動の推進

・あらゆる区民の学びや活躍の機会を拡充し、自己実現と生きがいづくりを支援します。また、学習活動・ボランティア活動を通じて、人々の出会 施策の いと学び合いを促進する生涯学習活動の担い手を育成します。

目標

・図書館において、区民一人一人の知的好奇心を満たし、多様な学びが広がる場をつくっていきます。また、子どもたちの読書活動を推進し、本を読むことを通じて知識、教養、豊かな感性、思いやりの心を育んでいきます。

関連する個別計画

大事業	中事業1	中央区民カレッジ	中事業2	かえで学級	中事業3	社会教育活動への支援
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
生涯学習の推進事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・中央区民カレッジ(以下、「区民カレッジ」という。)のさまざまな講座を通して、区民の生涯を通じた学習活動を推進し、その成 果をいかすことを目的とする。
- ・かえで学級は知的障害者の学校卒業後の生涯学習の場とし、社会の中で自立して生きていく力を身につけることを目的として 実施している。
- ・社会教育関係登録団体を育成するとともに、学んだことを地域にいかすことができる学習活動等の促進を図ることにより、本 区における社会教育の振興および生涯学習を推進することを目的とする。

2 財務情報
① 行政コスト計算書 (単位:四)

\cup									(甲12)円/
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	23,958,124	_	_		地方区税	0	_	_
	物件費	13,479,460	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	<u> </u>
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	1,611,500	_	_
行	補助費等	22,147,240	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	0	_		入	使用料及び手数料	0	_	_
用	減価償却費	0	_	_		その他	5,260,500	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小 計	6,872,000	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	1,336,139	_	<u>—</u>		行政収支差額	△54,048,963	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小計	60,920,963	_	_		通常収支差額	△54,048,963	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△52,325,173	_	_
	特別収入	1,723,790	_	_		一般財源充当調整	57,006,864	_	_
	特別収支差額	1,723,790	_	_	再計(一般財源調整後)		4,681,691	_	_

② 決算額の主な内訳

<u>它 从并限约工场门间</u>									
勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費						
	・区民カレッジ講師等謝礼 14,779,040円・かえで学級講師等謝礼 5,421,200円	決算額の 主な内訳	・区民カレッジ委託 5,100,300円 ・区民文化祭委託 2,862,903円 ・区民カレッジ用需用費 2,366,773円						
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_						

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	都支出金
決算額の主な内訳	・区民カレッジ受講料 5,260,500円	決算額の 主な内訳	・区民カレッジ(シニアコース)実施に対する都補助金 1,611,500円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

② 行政専用の歴質別割合

<u>3) 行政:</u>	質用の性質を	<u> </u>				
0%	20	9% 4	10% 6	0% 80	0% 1009	%
		人件費 39.3%	物件費 22.1%	補助費等 36.4%	そのft 2.2%	<u>t</u>
平成30年度					<u></u>	

•									\
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		斯中利日	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		勘定科目	A	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	1,336,139	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	_
固	建物	0	_	_	固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	正	退職給与引当金	24,004,963	_	_
資	重要物品	0	_	-	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_			負債の部合計	25,341,102	_	_
	建設仮勘定	0	_	_		正味財産の部合計	△25,341,102	_	_
	その他	0	_	-	台		0		
	資産の部 合計	0	_	_	貝頂・止味射座の部合計		U	_	_

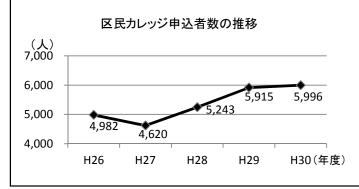
⑤ 決算額の主な内訳

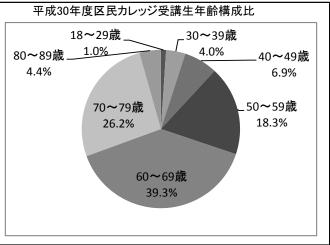
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
かえで学級登録者数(人)	43	_
社会教育関係登録団体数(団体)	649	_





4 総括

① 現状・成果・課題

- ・行政費用のうち補助費等が36.4%を占めておりその内訳はすべて講師等の謝礼となっている。
- ・区民カレッジについては、より多くの区民等が講座に参加できるよう工夫し、特に転入者や若年層を開拓していく必要がある。
- ・かえで学級は、学級生が高齢化傾向にあるため、活動内容を工夫していく必要がある。
- ・社会教育関係登録団体については3年ごとに更新し、登録内容の適正化を図っている。
- ・作品展やサークル発表会等、社会教育関係登録団体の学習活動の成果を発表する場があり好評を得ているが、「団体同士が交流できる場が欲しい」という声があり、さらに発展させた交流の場が求められている。

- ・区内全域で区民カレッジ講座を行い色々な時間帯を設定することで、さまざまなニーズを持つ区民等が生涯学習の魅力に触れ、楽しさを知る機会を提供する。また、TwitterやFacebook等のSNSを活用することで、新しい受講層の開拓に努める。
- ・かえで学級の活動内容を専門講師や科目講師と一層連携し、さまざまな年代の方にとってよりよい学習の場とするよう図っていく。
- ・社会教育関係登録団体同士の交流を図り、さらに団体活動を活発化させるため、社会教育関係登録団体交流会を実施する。

部課名 教育委員会事務局図書文化財課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-3 生涯にわたり学ぶ喜びを分かち合える学習活動の推進

目標

・あらゆる区民の学びや活躍の機会を拡充し、自己実現と生きがいづくりを支援します。また、学習活動・ボランティア活動を通じて、人々の出会 施策の いと学び合いを促進する生涯学習活動の担い手を育成します。

・図書館において、区民一人一人の知的好奇・心を満たし、多様な学びが広がる場をつくっていきます。また、子どもたちの読書活動を推進し、本を 読むことを通じて知識、教養、豊かな感性、思いやりの心を育んでいきます。

閉連する個別計画 第三次中央区子ども読書活動推進計画

大事業	中事業1	京橋図書館の管理運営	中事業2	日本橋図書館の管理運営	中事業3	月島図書館の管理運営
	中事業4	本の森ちゅうおう(仮称)の整備	中事業5	子どもの読書活動推進	中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
図書館管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

事業の目的

・区立図書館各館ごとの地域特性を踏まえた図書等の資料を整備するとともに、新たな知的興味の誘因となる話題性の高い内容をテーマとした企画展やイベ ント等を実施し、さまざまな世代にとって使いやすく快適な読書空間の提供や利用者の視点に立ったサービスを充実させることにより、居心地がよく、地域に 開かれた魅力ある図書館づくりを推進する。

あらゆる世代の多様な学びのニーズに応える拠点づくりとして、人口動向を踏まえた新たな図書館整備を推進していく。

・図書館、学校、家庭および地域の連携等により、読書離れの進む子どもたちが本に親しみ、読書が習慣となるように、また、読書を通して、知識や教養、豊 かな感性、思いやりの心等を育めるよう、子どもの読書活動を推進する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

\sim								^	\
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	150,898,410 — —			地方区税	0	_	_	
	物件費	388,501,747	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	355,077	_	_		国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_	_	1]	都支出金	0	_	_
行	補助費等	481,900	_	_	収	分担金及び負担金	0	_	_
政費	投資的経費	21,154,932	_	_	入	使用料及び手数料	0	_	_
用用	減価償却費	64,021,584	_	_		その他	1,853,730	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小計	1,853,730	_	_
	賞与·退職給与引当金繰入額	5,382,732	_			行政収支差額	△628,942,652	_	_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	630,796,382	_	_		通常収支差額	△628,942,652	_	_
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△627,784,114	_	_
	特別収入	1,158,538	_	_		一般財源充当調整	576,511,273	_	_
	特別収支差額	1,158,538	_	_	再	計(一般財源調整後)	△51,272,841	_	_

② 決算額の主な内訳

<u> </u>	・は、マンニ・ひじょは、		
勘定科目	物件費	勘定科目	人件費
大昇級の	・書籍等資料購入 58,932,954円(京22,196,094円、日18,385,706円、月18,351,154円)・図書館業務委託 186,144,480円・図書館システム機器借入および保守監視委託等 59,698,103円		・図書館サービス専門員(非常勤職員)報酬 51,068,415円
主な 増減理由		主な 増減理由	_

勘定科目	投資的経費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の	・本の森ちゅうおう郷土資料館(仮称)展示設計業務委託20,952,000円・図面等製本 202,932円	決算額の 主な内訳	・図書資料等のコピー代金 1,318,220円・沿革図集等 206,800円・紛失、破損資料等の弁償金 60,941円
主な 増減理由		主な 増減理由	

③ 行政費用の性質別割合

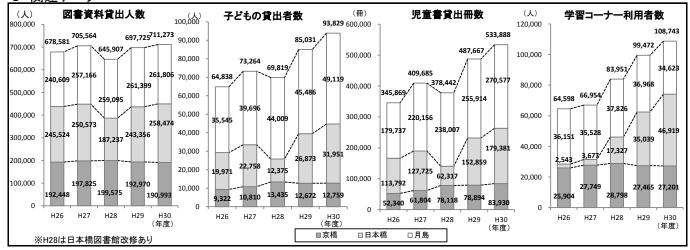


	25 III / 1 / 1 / 1 / 25								\
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
	刨足科日	Α	В	B-A		一	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_		動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_	ı	/丰	賞与引当金	5,382,732	_	_
	土地	2,784,614,725	_	_		その他	0	_	_
固	建物	1,018,665,796	_		固定	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	正 負	退職給与引当金	96,705,707	_	_
資立	重要物品	4,075,017	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	102,088,439	_	_
	建設仮勘定	195,426,000	_	_		正味財産の部合計	3,900,693,099	_	_
	その他	0	_		台	責・正味財産の部合計	4.002.781.538		
	資産の部 合計	4,002,781,538	_	_	貝貝	貝・正外別 注り引 ロ 引	4,002,701,330	_	_

⑤ 決算額の主な内訳

<u>り</u>	.観の王な内訳		
勘定科目	土地	勘定科目	建物
決算額の 主な内訳	・旧労働スクエア東京敷地 2,784,614,725円	決算額の 主な内訳	・京橋図書館 23,270,822円 ・日本橋図書館 868,917,445円 ・月島図書館 126,477,529円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	重要物品
勘定科目 決算額の 主な内訳	建設仮勘定 ・本の森ちゅうおう(仮称)建設工事設計業務委託 195,426,000円	勘定科目 決算額の 主な内訳	重要物品 ・カウンター、書棚等 4,075,017円

3 関連データ



4 総括

現状·成果·課題

・インターネットやスマートフォン等の新しい情報メディアの普及により、子どもを取り巻く生活環境が急速に変化する中、子どもたちがより多くの本に親しみ、読書の習慣を身に付けられるよう、多様な場面でさまざまな本と出会える環境の整備に向けた取組の推進が求められている。なかでも、子どもたちが読書に親しむ機会の一つである「読み聞かせ」については、読み聞かせ活動をさらに充実するため、ボランティアの養成や活動場所の拡充等を図っていく必要がある。

- ・図書館が幅広い世代の知的好奇心を満たす空間となるよう、図書資料の充実や積極的な情報発信をするとともに、すべての人にとって使いやすく居心地のいい環境づくりを推進し、図書館の魅力をさらに高めていく必要がある。
- ・「本の森ちゅうおう(仮称)」および晴海四丁目施設内における図書館の整備を着実に進めるとともに、既存の図書館も含めた図書館サービスの向上を図る必要がある。

② 今後の方向性

・図書館と家庭、地域、学校等の連携・協力のもと、「第三次中央区子ども読書活動推進計画」に基づいた取組を推進し、読書のきっかけづくりや本に親しみ 興味を持てる環境を整備していく。子どもたちと直接接する読み聞かせについては、ボランティアの人員を確保するとともに、技術の向上を図るための養成講 座の実施、読み聞かせの日数や開催場所の拡大等により、子どもたちが本に触れる機会の一層の充実を図っていく。

- ・図書資料の所蔵の有無に関わらず、さまざまな質問に対応できるレファレンス機能の提供や来館したくなる内容のイベント、講演会等を開催し、魅力ある図書館づくりを推進していく。
- ・「本の森ちゅうおう(仮称)」については令和4年度、晴海四丁目施設内における図書館については令和5年度の開設に向け、それぞれのコンセプトにのっとった図書館を整備していく。
- ・「本の森ちゅうおう(仮称)」を中心とした図書館ネットワークの充実によるサービスの向上を図るとともに、それぞれの館が地域特性を踏まえた特色あるサービスを展開することで、区立図書館全体の魅力を高めていく。特に「本の森ちゅうおう(仮称)」については、図書資料と郷土資料の一体的活用による利用者の利便性向上や魅力あるイベントの開催等、図書館機能、郷土資料館機能、生涯学習機能を集約した拠点ならではの取組を行っていく。

区民部スポーツ課 部課名

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-4 スポーツの楽しさが広がる環境づくり

目標

・子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、世代や生活スタイル、技術、興味、目的に応じて、日常的にスポーツ活動を楽しみ、親しむこと 施策のができる生涯スポーツを推進します。

・誰もが気軽に楽しくスポーツに取り組めるよう、ハード・ソフトの両面から、区民が身近なところでスポーツ活動ができる場を構築していきます。ま た、区民がスポーツに関連する必要な情報を手軽にかつ効率的に入手できる環境づくりを進めます。

・各種スポーツ団体の活動支援や指導者の確保・育成を図りながら、地域スポーツを推進します。

関連する個別計画 中央区スポーツ推進ビジョン

大事業	中事業1	スポーツ振興	中事業2	区民スポーツの日	中事業3	学校施設等開放
	中事業4	スポーツ推進委員活動	中事業5	スポーツ推進審議会の運営	中事業6	「中央区体育協会」助成
	中事業7		中事業8		中事業9	
スポーツ振興事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区内在住・在勤の青少年および成人を対象に、障害のあるなしに関わらずスポーツを通じて、心身の健全な発達や明るく豊かな生活を送るため、各種スポーツ教室・大会を行う。 ・区民一人一人のスポーツレクリエーション活動に対する参加意欲の高揚を促し、また、日常の活動成果の発表および誰もが気軽に参加できる場を提供することにより、区民相互の コミュニケーションを促し、併せて広く生涯スポーツを根づかせていく。

・区民の健康増進と体力の向上を図り、地域スポーツ振興に寄与するため、学校体育施設および学校温水プールを学校教育に支障のない範囲でスポーツ活動の場として提供してい

~。 ・スポーツ推進委員活動は、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導および助言を行う。 ・スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法および中央区スポーツ推進審議会条例に基づき、スポーツに関する事項について調査審議する。

・スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図るために、中央区体育協会の活動を支援するとともに助成を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

\mathbf{U}							(丰区:13/				
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A		
	人件費	57,814,175	_	_		地方区税	0	_			
	物件費	58,966,443	_			特別区財政調整交付金	0	_	_		
	維持補修費	0	_	_	行	国庫支出金	194,000	_	_		
	扶助費	0	_	_	政収入	都支出金	882,400	_	_		
行	補助費等	96,512,758	_	_		分担金及び負担金	0	_	_		
政費	投資的経費	0	_		^	使用料及び手数料	17,527,220	_	_		
用	減価償却費	0	_			その他	719,000	_	_		
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_	_		小計	19,322,620	_	_		
	賞与·退職給与引当金繰入額	9,714,927	_	_		行政収支差額	△203,685,683	_	_		
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_		
	小 計	223,008,303	_	_		通常収支差額	△203,685,683	_	_		
	特別費用	0	_	_		当期収支差額	△203,685,683	_	_		
	特別収入	0	_	_	一般財源充当調整		202,700,316	_	_		
	特別収支差額	0	_		再	計(一般財源調整後)	△985,367	_	_		

② 決質類の主か内訳

	- 俄の工な内部		
勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の		決算額の 主な内訳	・学校温水プール開放における受付業務委託 42,999,937円・学校体育施設スポーツ開放受付等業務委託 3,150,474円・校庭整備業務委託 1,404,000円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_
勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	その他(行政収入)
	. 学校族設等使用料 17.527.220円	>+ ## +T =	- フポーツ教室参加费 710,000円

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の 主な内訳	·学校施設等使用料 17,527,220円	決算額の 主な内訳	・スポーツ教室参加費 719,000円
主な 増減理由		主な 増減理由	_

③ 行政費用の性質別割合

<u> </u>										
09	% 20	% 40	% 60	0% 80	0% 10	0%				
	人件費 25.9%	物件費 26.4%		補助費等 43.3%	その他 4.4%					
平成30年度										

	A ID / I I I I I I								\ + - 1 1 1
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額		勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A		刨足针日	Α	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_		動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	2,901,331	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	_
固	建物	0	_		固定負	特別区債	0	_	_
定	工作物	0	_	_	疋	退職給与引当金	52,125,062	_	_
資	重要物品	2	_		債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_		負債の部合計	55,026,393	_	_
	建設仮勘定	0	_			正味財産の部合計	△55,026,391	_	<u> </u>
	その他	0	<u> </u>		- 負債・正味財産の部合計		2		
	資産の部 合計	2	_	_		頃・正外別 注の即口引		_	

⑤ 決算額の主な内訳

	<u> 徴の土な内ボ</u>		
勘定科目	重要物品	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・日本橋小学校貴重品ロッカー 1円 ・月島第三小学校自動券売機 1円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	-	主な 増減理由	_
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	

主な

増減理由

3 関連データ

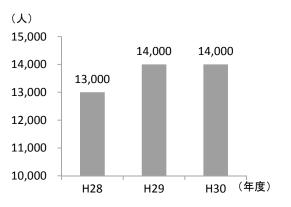
主な

増減理由

「区民スポーツの日」ボランティア体験参加人数

	平成29年度	平成30年度
参加者	51人	65人
募集対象	区立4中学校生徒	区立4中学校生徒 都立晴海総合高校 2·3年生

「区民スポーツの日」イベント参加人数の推移



4 総括

① 現状・成果・課題

・行政費用のうち、補助費等が43.3%を占めており、中でもスポーツ振興を行っている団体への補助金が65.9%と割合が高くなっている。

・障害のある方を対象とした「障害者スポーツ体験会」を年2回実施するほか、障害のある方の活動の場に指導者を派遣し、スポーツを楽しみ、親しむことのできる場を提供している。今後も障害のある方もない方もスポーツを楽しみ、親しむことができる場の拡充が必要である。

- ・「区民スポーツの日」において、区立4中学校および都立晴海総合高校2,3年生にボランティアとして運営等に参加する機会を提供し、65人の参加者を集めることができた。「ファミリースポーツデー」では、区立4中学校にボランティアの募集し、38人が参加した。小中学生や高校生がスポーツボランティアとして運営等に関わる機会を促進していく必要がある。
- ・地域スポーツクラブ大江戸月島の活動の充実により、地域住民がスポーツに参加する場が増加している。一方で、日本橋地域において地域スポーツクラブの設立に向けた動きが見られる。
- ・人口の増加やスポーツへの関心の高まり等による体育施設利用者の増加に伴い、スポーツの場の確保が必要となっている。

- ・令和元年度は、東京2020パラリンピック競技大会を見据えて障害のある方を対象とした障害者ボッチャ交流会を実施し、今後大会として発展させていく。また、健常者も一緒に参加できる大会とすることを目指す。
- 「区民スポーツの日」におけるボランティア体験の成果を踏まえ、他のイベントへの展開や実施内容の充実を図っていく。
- ・地域スポーツクラブについて、他団体との適切な役割分担が図られるよう配慮しつつ、未設置地域の実態を踏まえたクラブ設立の支援を行っていく。
- ・スポーツの場を確保するため、令和元年7月から新たに常盤小学校体育館においてスポーツ開放を実施する。また、今後晴海地区に整備する小学校・中学校においても、スポーツ開放を前提とした施設整備を行い、場の拡大を図っていく。

部課名

区民部スポーツ課

基本政策8 豊かな学びにあふれ健やかな体を育むまち

施策8-4 スポーツの楽しさが広がる環境づくり

施策の 目標

・子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、世代や生活スタイル、技術、興味、目的に応じて、日常的にスポーツ活動を楽しみ、親しむこと ができる生涯スポーツを推進します。

が、このエポスパーンに正位とす。 ・誰もが気軽に楽しくスポーツに取り組めるよう、ハード・ソフトの両面から、区民が身近なところでスポーツ活動ができる場を構築していきます。また、区民がスポーツに関連する必要な情報を手軽にかつ効率的に入手できる環境づくりを進めます。

・各種スポーツ団体の活動支援や指導者の確保・育成を図りながら、地域スポーツを推進します。

関連する個別計画 中央区スポーツ推進ビジョン

大事業	中事業1	運動場等管理運営	中事業2	総合スポーツセンター等管理運営	中事業3	月島スポーツプラザの改修
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
スポーツ施設管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・スポーツおよびレクリエーションの振興を図り、区民の心身の健全な発達に寄与するよう総合的に運営を行うことを目的とする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

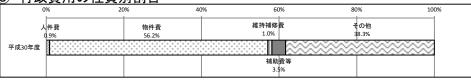
	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
	人件費	6,595,585	_	_		地方区税	0		_
	物件費	426,939,533	_	_		特別区財政調整交付金	0	_	_
	維持補修費	7,818,579	_	_	行	国庫支出金	0	_	_
	扶助費	0	_		政	都支出金	0		_
行	補助費等	26,943,590	_		収 入	分担金及び負担金	0		_
政費	投資的経費	0	_	_	^	使用料及び手数料	14,331,218	_	_
用	減価償却費	290,385,608	_	_		その他	1,788,209	_	_
	不納欠損引当金繰入額·貸倒引当金繰入額	0	_			小 計	16,119,427		_
	賞与·退職給与引当金繰入額	381,754	_	_		行政収支差額	△742,945,222		_
	その他	0	_	_		金融収支差額	0	_	_
	小 計	759,064,649	_			通常収支差額	△742,945,222	_	_
	特別費用	5	_			当期収支差額	△737,072,868		_
	特別収入	5,872,359	_	_		一般財源充当調整	453,707,766		_
	特別収支差額	5,872,354	_	_	再	計(一般財源調整後)	△283,365,102	_	_

② 決算額の主な内訳

	· <u>供 v 工 · S r · 1 m · </u>		
勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の 主な内訳	・総合スポーツセンター等指定管理料 353,670,694円・月島運動場等指定管理料 46,947,858円	決算額の 主な内訳	・総合スポーツセンター等体育施設 263,814,148円 ・重要備品 6,143,439円
主な 増減理由		主な 増減理由	_

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・運動場使用料 5,409,600円・豊海テニス場使用料 5,691,350円・総合スポーツセンターレストラン使用料 3,230,268円	決算額の 主な内訳	・江戸川河川敷野球場等利用収入 498,000円・総合スポーツセンターレストラン水道料・電気料 1,290,209円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

③ 行政費用の性質別割合



	<u> </u>						\ - - - 1 3/		
	勘定科目	平成30年度	令和元年度	差額	勘定科目		平成30年度	令和元年度	差額
		Α	В	B-A			A	В	B-A
流	収入未済	0	_	_	流	還付未済金	0	_	_
動資	不納欠損引当金	0	_	_	動	特別区債	0	_	_
産	その他	0	_	_	負債	賞与引当金	381,754	_	_
	土地	0	_	_		その他	0	_	_
固	建物	6,099,977,144	_	_	固	特別区債	0	_	_
定	工作物	232,678,822	_	<u>—</u>	固定負	退職給与引当金	6,858,561	_	_
資	重要物品	12,597,522	_	_	債	その他	0	_	_
産	インフラ資産	0	_	_	負債の部合計		7,240,315	_	_
	建設仮勘定	14,029,200	_	<u>—</u>	正味財産の部合計		6,352,042,373	_	_
	その他	0	_	_	- 負債・正味財産の部合計		6,359,282,688		
	資産の部 合計	6,359,282,688	_	_					_

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の	・総合スポーツセンター 5,800,588,509円 ・月島スポーツプラザ 284,532,794円 ・浜町運動場ダッグアウト4棟 3,020,640円 ・月 島運動場管理事務所 11,835,200円	決算額の 主な内訳	・総合スポーツセンタープール循環ろ過設備 40.854,400円 ・総合スポーツセンターブロンズ像 17.773,132円 ・月島運動場 防球ネット 74,721,070円・月島運動場照明塔 66,185,525円
主な 増減理由		主な 増減理由	_
勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	重要物品
	・月島スポーツプラザ等複合施設大規模改修工事設計業務委託	決算額の	·バスケットゴール(2台) 11,479,710円

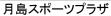
勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	重要物品
決算額の 主な内訳	・月島スポーツプラザ等複合施設大規模改修工事設計業務委託 14,029,200円		・バスケットゴール(2台) 11,479,710円 ・トランポリン(1台) 1,117,800円
主な 増減理由	_	主な 増減理由	_

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
月島運動場 利用面数(面)	2,535	_
浜町運動場 利用面数(面)	1,292	_
豊海テニス場 利用面数(面)	6,645	_
江戸川河川敷 利用面数(面)	424	_

総合スポーツセンター







総合スポーツセンター・月島スポーツプラザ利用人数 899,224 916,976 919,306 (人) 831,528 852,058 900,000 184,238 181,406 181,709 168,807 160,965 700,000 500,000 732,738 737,900 717,515 683,251 670,563 300,000 100,000 H27 H28 H29 H30 (年度) ■総合スポーツセンター ロ月島スポーツプラザ

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・総合スポーツセンターや月島スポーツブラザ、運動場等、スポーツおよびレクリエーションを行う場を提供することで、区民の 健康増進に寄与している。
- ・行政費用のうち物件費が56.2%を占めており、その中でも指定管理者に支払う指定管理料が93.8%を占めている。
- ・利用者満足度の向上に向け、利用者アンケートや利用者からの要望を参考に施設の混雑具合をインターネットで配信するなど利用環境や利便性の向上を図っている。
- ・障害のある方がスポーツ利用できる施設としての環境が整っていない。

- ・既存体育施設の老朽化対応を計画的に進め、現状の施設の機能を見直しながら大規模改修を検討していく(月島スポーツプラザは施設の老朽化への対応や機能強化を図るため、令和元年10月から令和2年6月まで大規模改修工事を実施する)。
- ・総合スポーツセンターは、東京2020オリンピック競技大会の3×3 バスケットボール練習会場に貸出すことを踏まえ、令和元年度大規模改修工事で和式トイレの洋式化工事を行う。
- ・今後、総合スポーツセンター改修工事の機会に、障害のある方がスポーツ利用できる施設整備を検討していく。